

令和6年8月8日

令和6年

第1回教育委員会臨時会会議録

大田区産業プラザP i O コンベンションホール

令和6年8月8日（木曜日）午後2時から

### 1 出席委員（6名）

小 黒 仁 史		教育長
三 留 利 夫	委 員	教育長職務代理者
弘 瀬 知江子	委 員	
高 橋 幸 子	委 員	
深 澤 佳 己	委 員	
北 内 英 章	委 員	

### 2 出席職員（19名）

教育総務部長		今 井 健太郎
参事（教育施設担当）		河原田 光
教育施設担当課長		小野澤 行 平
副参事（教育施設調整担当）		小 池 武 道
副参事（教育地域力担当）		長 岡 誠
学務課長		高 野 恭 子
指導課長		細 田 真 司
学校支援担当課長		鈴 木 啓 介
教育センター所長		早 田 由香吏
大田図書館長		後 藤 清
指導課 統括指導主事		中 治 謙 一
指導課 統括指導主事		秋 山 亮
指導課 統括指導主事		折 田 和 宙
指導課 指導主事		宮 澤 尚
指導課 指導主事		江 袋 勇 樹
指導課 指導主事		村 松 千恵子
指導課 指導主事		原 口 慧 史
指導課 指導主事		清 水 天 音
指導課 指導主事		桑 原 宏 一

### 3 日程

日程第1 令和7年度使用大田区立中学校教科用図書採択について

日程第2 「議案審議」

第30号議案 学校教育法附則第9条の規定に基づく令和7年度使用特別支援  
学級教科用図書採択について

第31号議案 令和7年度使用大田区立中学校教科用図書採択について

~~~~~

(午後 2 時00分開会)

○教育長

それでは、ただいまから、令和 6 年第 1 回教育委員会臨時会を開催いたします。

本日は、中学校教科用図書採択の審議を行いますので、大田区教育委員会会議規則第14条により、教科書採択関係職員も出席しております。

それでは、これより審議に入ります。本日の出席委員数は定足数を満たしておりますので、会議は成立しています。

まず、会議録署名委員に深澤委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

続いて、本日の日程第 1 について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員

日程第 1 は、昨日の定例会に引き続き、「令和 7 年度使用大田区立中学校教科用図書採択について」でございます。

○教育長

昨日の定例会では、国語、書写、社会（歴史）、社会（地理）、社会（公民）、地図、数学、7 種目について審議いたしました。

本日は、理科、音楽（一般、器楽）、美術、保健体育、技術・家庭、英語、道徳の 9 種目について審議をいたします。

初めに、理科について審議いたします。

委員の皆様のご意見をよろしくお願いいたします。

○弘瀬委員

理科は東京書籍を推薦いたします。中学校の理科第 1 分野では物理あるいは化学領域、第 2 分野、生物領域及び地学領域を学んでいきます。エネルギー、それから粒子、生命、地球という内容で構成されていますが、理科は直接自然現象に触れるなど、体験により自然現象に興味を持ち、その自然の中に問題を見出し、観察や実験を行って考察していく過程が重要だと考えています。

そのような観点から、各学年の表紙が既に探究心を揺り動かすものになっている。そして中に、「身近なものは」というクエスチョン、それからどの教科書も探究の流れを意識した記載になっているということ、そして教科書の構成は巻頭、単元、巻末でできていて、単元はさらに細分化され、単元冒頭には章、単元、単元末に分かれ、章は章の扉、節、章末に分かれている。章末にはスタート動画があり、これらの学習する内容が分かるようになっています。

節の前後にはビフォー&アフターの問いかけがあって、さらに写真やイラストが多くきれいに写っております。

豊富な QR コンテンツ、これも重要なことだと思っています。観察や実験を安全に行うための配慮が充実、例えば実験の手順、器具の操作をデジタルコンテンツで確認、アイコンの注意マークが見やすいこと、そして使用する薬品が一覧で巻末にまとめていることなど、大変見やすく、そして勉強しやすいと思えました。

「社会とのつながり」では、関連した仕事をしている人のインタビューを記事に載せていたり、自然災害や防災、減災教育への取組、小学校から中学校、中学校から高校へのつながり、他の教科書とのつながりが分かりやすいと感じました。

さらに、キャリア教育への対応も充実していると思います。

最後に、大田区の生徒に知識の定着、知らないことに対して解決しようとする態度の育成をいかに図るかが重要であると考えています。そのために、科学に対していかに興味を持てるか、そして「なぜ」の問いかけが重要であることに気づくことにより、知識・理解が深まると考えています。そのような構成になっている教科書である東京書籍を選びました。

#### ○深澤委員

私は、理科については東京書籍を推薦いたします。

理由は四つあります。

一つ目は、理科は実験や観察を中心とした探究の過程を通じて、課題を解決したり、新たな課題を発見したりする経験をすることが重要であると考えられます。東京書籍は、実験や観察について「じっくり探究」と名づけ、問題設定後に仮説を立てたり、実験計画を立ててから実験を行い、課題に対する結論を自分の言葉で表現するという構成になっていました。巻末には全ての実験や観察についての表現例が掲載されており、課題解決までのプロセスが丁寧であるとも思いました。

また、単元の振り返りの際、学びを生かして活用してみる工夫も紹介されていたので、知識の定着や新しい課題発見につながるものであると考えました。

二つ目は、二次元コードが充実している点です。単元の初めにスタート動画の二次元コードがあり、その単元をなぜ学ぶのかについての説明がありました。また、単元に関連するこれまでに学んだこと、実験の手順、演習問題等様々なコンテンツがあり、単元の理解を進めるのに役立つものでした。

三つ目は、科学に関する読み物が充実している点です。「科学の本棚」での本の紹介、単元が身の回りどのように活用されているかが分かる「まちなか科学」、漫画で科学の歴史を学ぶ「歴史にアクセス」、そのほかにも科学に関連するコラムがたくさんあり、科学を身近に感じる工夫がされていました。単元ごとに掲載されている「社会につながる科学」では、その単元に関連する職業人の話が掲載されていました。キャリア教育につながるもので、よいと思いました。

四つ目は、演習の方法についてです。単元ごとに、用語を確認する学習内容の整理、確かめ問題、活用問題が掲載されていました。基礎的な知識の確認から基礎的問題、活用問題へと段階的に問題を解いて知識を確認していくことができるのがよいと思いました。

以上の理由から、私は理科については東京書籍を推薦いたします。

#### ○北内委員

理科は、東京書籍を推薦します。

理由は、各課題の探究の流れが、生徒にとって分かりやすく構成されているからです。各節の始まりで「問題発見」「課題」が示され、「仮説」「構想」を立てて、「観察」「実

験」に進みます。授業での生徒同士のディスカッションなど協働を通して、「分析解釈」「検討改善」し、課題に対する結論をまとめます。「ふり返り」「活用」で、より深い学びができるように配慮されています。更に、「発展」で、より詳細な話題を提供し、理科（科学）の面白さを伝えている点もよいと思いました。おおたの生徒には、科学の面白さを知ってほしいと思っています。自主的に課題設定し、問題解決できる力をつけてほしいからです。また、東京書籍の数学との連携も図られているため、生徒は教科等横断的に学びを広げることができる点もよいと思いました。例えば、力学的エネルギーでは、ジェットコースターの運動を例に考察していますが、これは数学の二次関数の内容とつながります。

その他、科学の基本である記録（スケッチ、レポート）の書き方を全学年で教えている点、全学年、「科学の本だな」で、関連書籍を紹介し、より深い学びができる点、全学年、「学びを広げよう 自由研究」で、科学の面白さを伝えている点、図と写真が適切に使い分けられ、課題の特徴を良くとらえられている点、デジタルコンテンツが充実している点も推薦理由に挙げることができます。

理科に関しては、本区学習効果測定結果から、区内中学生の大きな課題として、基礎知識の定着と知らないことに対して、解決しようとする姿勢の育成が挙げられています。本教科用図書は、探究の流れが分かりやすく、基礎知識から考えさせる課題が多く設定され、おおたの生徒に適していると言えます。また、その内容は、第4期「おおた教育ビジョン」とも合致しています。

区民意見は拮抗しましたが、学校意見は東京書籍に肯定的です。

以上から、私は東京書籍を推薦します。

#### ○高橋委員

理科は東京書籍を選びました。表紙と口絵で学習意欲につなげる工夫があります。巻頭の「探究の流れを確認しよう」では漫画で活動例が示され、問題発見、課題、仮説、構想、観察、実験、考察、自分の考えのまとめ、振り返りの活動が理解しやすくなっています。

「科学の本だな」には、各学年の学習内容に関連のある本の紹介があり、興味を持って読むことで、読書活動の一助になると考えます。

写真、イラスト、図、漫画、生徒の吹き出しなど、見やすく分かりやすい工夫が多い。単元末の「社会につながる科学」や読み物の「まちなか科学」、「歴史にアクセス」、「なるほどね!」、「お仕事図鑑」、「防災特集」、「私たちのSDGs」のタイトルは手書き風になっていて、心安らぐ工夫があります。

「世界の全ては元素でできている」と見開きページで、大きな周期表は利用例、性質、イラストで分かりやすく、身近なものだと理解しやすくなっています。

単元ごとに色分けしてあり、見開きの写真と問いかけ、この単元で学ぶことは、イラストと課題を示し、学習のイメージが持てそうです。これまでに学んだこともあり、確認しながら進めることができる。左ページに本文、右ページに観察・実験があり、レイアウトが一貫していて分かりやすい。章末で学習内容の整理、確かめ問題、活用問題があり、学んだことをチェックできる。巻末には1年生「はかる」、2年生「見る」、3年生「考え

る」のテーマで、自由研究の特集がある。「ジオパークに行こう」には、日本地図に示した場所の写真が紹介され、興味を持ってそうです。

「学習の中での？（はてな）」や「自分の考えをまとめよう」があり、巻末には各学習ごとの例が示されていて参考になり、自分の考えをまとめたり深めたりできる。「デジタルコンテンツを活用しよう」があり、実験の手順動画など学習を深められる種類の紹介があります。

教科用図書調査委員会は、学校意見では肯定的意見が多いと報告されていました。

以上の点から、東京書籍を推薦します。

### ○三留委員

理科は東京書籍を推薦いたします。

実験、観察を伴う理科は、全ての社が探究的学習に力点を置いています。その中で東京書籍は冒頭で「探究の流れを確認しよう」という課題から、結論、振り返りに至る学習の流れについて、イラストを使って分かりやすく説明しています。さらに、「教科書の使い方を押さえよう」という見開きページにより、教科書を活用した探究学習の進め方を記しています。

どの社も単元前にあるグラビア写真がビジュアルで引きつけられるものが多く、生徒の興味を喚起するような構成になっています。東京書籍は各章の扉も断ち切りのインパクトのある大きな写真で示され、興味を引きます。写真が見やすく分かりやすい感じがいたしました。

東京書籍は単元の導入がよくできており、生徒の意欲的な学習につながると思いました。単元の扉には、その単元に関連したデジタルコンテンツによるスタート動画が用意されていたり、本質的な問いが示されたりしています。各ページには、探究の流れを意識した構成になっており、見通しをもった授業づくりにつながります。

「レッツスタート」という囲みによって既習経験や生活体験などに基づく問題発見につなげているのが東京書籍の大きな特色です。生徒の気づきや興味を課題につながるようにしていくことは大切なことと思っています。

単元末には、学習内容の整理、確かめ問題、活用問題が載せられていますが、必要なことが整理されて示されていると思いました。

科学などの一線で活躍する人物による先端の興味深い話題が載せられている「社会につながる科学」については、区民意見の中に、「社会に目を向ける機会となり、理科の学習がどのような場面で生かされているのかなどが理解できる」がありますが同感で、学習の発展にもつながります。

章末には、学んだ内容をチェックできる「学んだことをチェックしよう」がありますが、章の学習を確認する意味でも大切な活動と思いました。実験・観察のページでは、目的がきちんと書かれており、実験の説明も分かりやすいと思いました。準備するもののチェック欄があるのもよいです。

学年に2か所程度、「流れに沿ってじっくり探究」という単元を設けているのも、東京書籍の特色です。問題発見、構想、分析、学習のまとめ、活用といった流れが1本のラインに沿って示されているので、分かりやすいと思いました。じっくり観察や実験に関わる

活動をして、探究活動が味わえる単元があってもよいと感じました。

自分の考えをまとめるための工夫もあります。クエスチョンマークで示されている各ページにある課題に対しては、学習の終わりに、一人ひとりの生徒が自分の言葉で文章にまとめることが大切と思っております。巻末にクエスチョンマークに対する「自分の考えをまとめよう」の例を示しているのもよいと思いました。

他の委員からも指摘がありましたけども、科学に対する読み物が豊富に載せられているのも、東京書籍の特色です。身近な科学を伝える「まちなか科学」、科学の歴史を伝える「歴史にアクセス」、不思議な出来事の解明や意外な出来事などを解説した「なるほどね」などです。それぞれ生徒にとって興味深い内容が多いと思いました。

東京書籍は、持続可能な社会についての記述が充実しています。各学年に「私たちのSDGs」という囲みがあり、科学とSDGsに関わる話題については興味を引きました。3年の最後の単元は「地球と私たちの未来のために」があります。生態系や自然環境の調査保全、科学技術と人間のページでは、生徒に知ってもらいたい内容が多くありました。終章の「持続可能な社会のために」では、SDGsの紹介や脱炭素社会に向けての取組が示されています。その上で、自分たちはどのような行動を取るかディスカッションするようにしています。これらの学習は、SDGs未来都市である大田区のどの学校でも行ってもらいたい学習活動と思いました。

ほかにも防災特集という囲みがあり、学習内容と関連させた防災の話が載せられており、これも有意義だと思いました。東京書籍は随所に紙面の内容を補完する資料、動画、思考ツールなどのデジタルコンテンツも充実しています。

以上が、東京書籍を推進する理由となります。

## ○教育長

私も、理科は東京書籍がよいと思います。

本区では理科教育の充実を図っていますが、理科の好きな生徒を育てるには、実験や観察を充実させることが大切であると思います。自然の変化や化学変化を実際に自分の目で観察したり、実験で確かめられたりしたときの面白さが科学への関心を高めるように思います。東京書籍は、どの単元においても実験・観察の課題解決の過程が明確に示されています。問題の発見、仮説の設定、実験・観察、分析や解釈の流れが分かりやすく、明確になっています。科学的に考え、実験・観察力を身につけるのに有効であると思います。

中学校の理科の分野は生物学や医学、物理学や地学、科学に至るまで非常に内容が幅広いものがあり、その規則性や法則をしっかりと理解するには中学生にとってはなかなか難しい面もあるかと思えます。東京書籍は実験などの結果から、分かりやすく理解できる工夫がなされているように思います。3年生での酸性やアルカリ性の水溶液の性質の学習では、酸は水素イオンを生じるもの、アルカリは水酸化イオンを生じるものであることや、中和というのは、水素イオンと水酸化イオンが結びついて水になって酸性とアルカリ性が打ち消されるというような実験結果につきましても、分かりやすくまとめております。

また、東京書籍は二次元コードが大変充実していて、実際にはなかなか見ることのできない自然現象や化学変化の様子が動画によって繰り返し見ることができ、生徒の興味と理解を深めることにつながるというふうに感じました。

それでは、審議のまとめをいたします。審議では、東京書籍を評価する意見が多かったようでございます。理科については東京書籍が最も評価が高かったということでまとめてよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

#### ○教育長

それでは理科については、東京書籍といたします。  
続いて、音楽（一般）について審議いたします。  
委員の皆様にご意見をお願いいたします。

#### ○弘瀬委員

音楽（一般）は教育芸術社を選びました。まず、耳から入った音楽は脳に伝わり、自律神経に作用し心拍や血圧に影響を与えます。そして興奮、鎮静、リラクゼーションなどの効果ももたらすということが分かっております。同時に、心の状態にも影響を与え、感情、知覚、認知を活性化することも知られています。そのような観点から教科書を選びました。

音や音楽が生活、社会、文化とどのように関わり、どのような意味、価値を持つかを生徒が意識的に考えることができる特集のページがありました。主体的、対話的で深い学びを表現する「学びのコンパス」により、学習指導要領に沿った何を学ぶか、どう考えるかを的確に示していると思います。

私が感じる非常に洗練された合唱曲が多いこと、そしてキャラクターの吹き出しでは教師の発問、生徒の嗜好や発言を促し、ポイントを押さえて学習を進められるように配慮してありました。

中学の音楽では全学年に「生活や社会の中の音楽」という特集を組み、サウンドロゴやSDGsなど幅広い話題を取り上げているところがありました。

以上から、私は教育芸術社を選びました。

#### ○深澤委員

私は音楽（一般）については、教育芸術社を推薦いたします。

教育芸術社を推薦する理由は四つあります。

一つ目は、美しい音楽や楽しい音楽は聞いているだけで心が高揚しますが、作者の生い立ち、社会的環境、なぜその曲が作られたのかなどの背景を知ると、その曲の感じ方が変わってくることがあります。

例えば、有名な「モルダウ」は、チェコ人であるスメタナによって作曲されましたが、当時オーストリアの压制下でチェコ人は母国語を話すことさえ禁止されていました。そこで、祖国への思いを音楽に託して作曲したのがこの曲です。教育芸術社の教科書では、作曲時のそのような背景が記載され、さらに当時のヨーロッパと現在のヨーロッパの地図も掲載されていました。

また、ビートルズの有名な「Hey Jude」は亡くなったジョン・レノンの息子、

ジュリアンを励ますために作った曲だそうです。掲載されている曲の多くにそのような説明があり、曲をより豊かに感じとるための工夫がなされていた点がよいと思いました。

二つ目は、教育芸術社の教科書は、世界の音楽や楽器が様々紹介されていたことです。日本に関しては長唄、三味線等の日本音楽や、能や歌舞伎、狂言等、日本の伝統芸能が紹介され、他の国についてはアフリカ、ユーラシア大陸、南アメリカと世界の様々な楽器、そしてミュージカルやオペラ、ポピュラー音楽など様々なジャンルの音楽に関する紹介がされていて、おおた教育ビジョン個別目標2に掲げる異なる文化・価値を理解するという施策に資するものであると思いました。

三つ目は、掲載されている合唱曲が多彩であり、生徒たちが親しみを持ちやすい曲が選定されている点がよいと思いました。

四つ目は、学校意見、区民意見でも教育芸術社に肯定的な意見が多数ありました。

以上の理由から、音楽（一般）に関しては教育芸術社を推薦いたします。

#### ○北内委員

音楽（一般）は、教育芸術社を推薦します。

理由は、生徒が親しみやすい楽曲が多く掲載され、自然に学びを広げることができるからです。例えば、「涙そうそう」など、みんなが知っている楽曲が載せられています。更に、本区では合唱コンクールを開催していますが、中学3年間を通して、指揮の学習が掲載されている点もよいと思いました。音楽会や周年記念式典、入学式や卒業式での指揮、合唱、演奏は、どの学校も素晴らしく、これまで教育芸術社を使用した指導による成果が表れていると言えます。また、巻頭をはじめ、著名人から言葉が素晴らしく、影響を受ける生徒も多いと思いました。伝統芸能では、雅楽、箏曲、民謡、歌舞伎、長唄、文楽、尺八楽、能、謡が写真とともに掲載されているので、生徒にとって分かりやすいと思いました。

学校意見、区民意見、共に教育芸術社に肯定的です。

以上から、私は教育芸術社を推薦します。

#### ○高橋委員

音楽（一般）は教育芸術社を選びました。巻頭にはそれぞれの分野で活躍している人の写真とメッセージ「音楽って何だろう？」とあり、一生を通して楽しむもの、自分の世界を広げるもの、寄り添ってくれるものとメッセージを掲載していて、学びの意義につながる工夫があります。

学習内容は、歌唱、創作、鑑賞別に色分けしてあり、それぞれの教材でどのようなことを学習するのか確認できます。「マイボイス」では、歌う姿勢と呼吸、歌声づくりを学習し、変声期についても丁寧に示されています。

学習の手順を丁寧に示している「学びのコンパス」により、何を学ぶのか、どう考えるのかが的確に示されている。楽曲には、作者からのメッセージや説明文・作者紹介があり、関心を高める工夫があります。キャラクターのコメントで学習を進めることができ、自ら気づき、学習に取り組む力が育成される。「ルールを守って音楽を楽しもう」では著作権について掲載してあり、音楽を利用するときに気をつけることなどを学ぶことができ

る。楽譜やイラストが大きく、画像の中に説明があるので、とても見やすく分かりやすい。「指揮をしてみよう」は全学年で扱われポイントを学べるので、合唱コンクールに最適な学びです。「耳でたどる音楽史」には日本古来の芸能、雅楽、近世邦楽などを年表に示し、西洋の楽曲は作者とともに写真などで流れが分かるように示されていて、興味が持てます。巻末の「音楽を形つくりしている要素」では五線譜、音階など音楽の約束は基礎的なことがまとめられてあり、学習の振り返りとして確認できます。

「ミュージカルの主な作品とその代表曲」の紹介は、知識として心に残るものでした。

国歌「君が代」は裏表紙に国歌、国旗と、国際的儀礼としてオリンピック、パラリンピック、ワールドカップの写真とともに掲載してあります。

教科用図書調査委員会は、学校意見では肯定的意見が多いと報告されました。

以上の点から、教育芸術社を推薦します。

### ○三留委員

音楽（一般）は教育芸術社を推薦いたします。

音楽は教育芸術社を含む2社で、どちらも冒頭見開きに音楽や芸術分野で大成した人物の写真とコメントを掲載しています。教育芸術社はさらにもう一つ、見開きで「音楽って何だろう」というグラビアページを載せています。これも様々な分野で一線にいる人物の、音楽に対する思いと関連する写真を記載しています。人間にとって音楽の大事さが伝わってくるページで、生徒の音楽への思いに働きかけてくれるものと感じました。

教育芸術社は目次の次のページで、各学年で学ぶ学習内容を記載しています。音楽科で身につける三つの資質・能力とそれに対応する学習内容や教材などを図示しています。このページからは、1年間で学ぶ学習内容もよく分かり、生徒が学習の見通しを持つことにもつながります。

どちらの社もほとんどの題材に課題が示されています。課題に書かれている内容から、子どもたちに何ができるようになっていけばよいか、意識させて学習に取り組めるようにしようとする意図を感じます。さらに教育芸術社は、学習のポイントとなる問いが添えられています。例えば、「歌詞に書かれた心情は、詩の違いや速度、強弱でどのように表されているのだろうか」「二つの曲の特徴の違いは何によって生み出されているのだろうか」などの問いです。意識して取り組むことで、児童の学習に深まりが生まれると思いました。

教育芸術社の特色として、「学びのコンパス」というページや囲みが見られます。示された教材に関連させて、学習を深めたり広げたりできると思いました。「学びのコンパス」には自分の考えや感じたことを書き込む欄も多く、学校意見で「楽曲理解を深めていくために、書き込みのページが残っていてよかった」とあるように、考えを深め、発表や生徒同士の交流にもつながると考えました。

各学年には「マイボイス」のコーナーがあって、上手に歌うためのポイントや工夫を考えるための視点を示しています。こうした記述は思考力、判断力の育成とともに、生徒の技量の習熟のためにも大切なことと思いました。

指揮については、各委員からも話がありましたが、全学年、段階に即して、見開き1ページで曲調や歌詞、強弱など細かいところまで丁寧に説明しています。大田区の中学校では合唱コンクールが盛んで、音楽教育のみならず、仲間意識を醸成するなど、学級づくり

にも成果を上げています。このような点からも、指揮や合唱の仕方について理解と習熟を図ることは、大切なことと思っております。

教育芸術社は日本の伝統音楽の紹介にも重点を置いていると感じました。雅楽、民謡、歌舞伎、能、文楽などを扱うページは、写真資料が充実して興味を引きます。郷土芸能を扱うページの各学年にあり、郷土の音楽、芸能に関心を持たせようとしています。

教育芸術社は、全体的に親しみやすい楽曲を選曲し、分かりやすい構成になっていると感じ、推薦することといたしました。

#### ○教育長

私も、音楽（一般）は教育芸術社がよいと思いました。教育芸術社には、1年生の初めの単元に「心の歌 歌い継ごう日本の歌」として、「浜辺の歌」と「赤とんぼ」が続けて載っています。両曲とも情景の写真も大変美しく、日本の歌として生徒たちに歌い継いでほしいものであると感じました。

また、教育芸術社は音楽の持つ力の幅広さを感じます。2年生ではポピュラー音楽として、ロックやジャズ、ボサノバの名曲を幅広く紹介しています。また、日本のポピュラー音楽も演歌からヒップホップまで紹介しています。さらに2、3年生では、ミュージカルなど生徒のこれまでの音楽のジャンルを広げ、多様な音楽への関心を育てるものだというふうに思いました。

中学生にとって音楽は、生活の中に大きな存在となっている状況が見られますが、音楽の豊かさを伝える教科書としては、教育芸術社がよいのではないかというふうに思います。

また、楽譜などが見やすく、生徒たちが歌唱や演奏に大変使いやすいというふうに思いました。

それでは、審議のまとめをいたします。音楽（一般）については、教育芸術社の評価が高かったということでまとめてよろしいでしょうか。

（「異議なし」との声あり）

#### ○教育長

それでは、音楽（一般）については教育芸術社といたします。

続きまして、音楽（器楽）について、審議いたします。

委員の皆様のご意見をお願いいたします。

#### ○弘瀬委員

音楽の器楽に関しましても、教育芸術社を使用してもらいたいと思い、推薦いたしました。

音楽で身につけられる三つの資質・能力と、各教材との関係を図表に示してありました。各学年や楽器の学びの地図となるよう、目次の次のページに掲載しています。年間学習指導計画や評価計画などを立てる際の参考資料としても活用できると思いました。

中学生の楽器では、バンドに関する情報や中学生が和楽器を取り組む様子、伝統の枠を

超えて活躍するものなどが紹介されていました。

そのほかには二次元コードからのアクセスができるデジタルコンテンツがあるということ。そして巻末資料、我が国の国や郷土の伝統音楽の充実なども書かれていました。

教育楽器、現在一般的には、調べたところ100ほどあるようです。鍵盤ハーモニカ、リコーダー、ハーモニカ、カスタネット、バイオリン、オカリナ等々非常に豊富なもの、いろんなものを書いて掲載されていました。

曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して演奏することができること、楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏することなど、教育芸術社の教科書は非常に優れているものと思い、推薦いたしました。

#### ○深澤委員

私は、音楽（器楽合奏）は教育芸術社を推薦いたします。別冊になっている器楽の本には、様々な楽器の紹介とその楽器の使い方の説明が掲載されていました。それぞれの楽器の題名の下には「楽器を知ろう」というコーナーがあり、例えば太鼓は伝達手段として打ち鳴らされたり、人々と神とを結びつける祈りや儀式で用いられていたと示されています。沖縄のエイサーなどが有名ですが、各地に様々な形の太鼓があり、郷土の祭りや芸能に用いられているそうです。楽器について知識が増えると、楽器についての興味が増していきます。楽器の打ち方や練習曲なども多々形成されておりました。太鼓に限らず、いろいろな楽器が同じような説明の仕方で行なわれているので、新しい楽器に挑戦したいときに使いやすい教科書であると思いました。

アンサンブルの曲も、中学生が好みそうな曲が豊富に掲載されているので、合奏の際に利用しやすいと思いました。

区民意見でも、新しい曲が増えていて、時代のニーズに合わせた工夫がよかったというご意見がありました。

以上の理由から、音楽（器楽合奏）については、教育芸術社を推薦いたします。

#### ○北内委員

音楽（器楽合奏）は、教育芸術社を推薦します。

理由は、生徒が親しみやすい楽曲が多く掲載され、自然に学びを広げることができるからです。例えば、「笑点のテーマ」など、みんなが知っている楽曲が載せられています。更に、本区では「ヤングフェスーOh!!盛祭」など中学生が発表できる機会があり、ギターをはじめ様々な楽器が掲載されている点もよいと思いました。音楽会や周年記念式典、入学式や卒業式での指揮、合唱、演奏は、どの学校も素晴らしく、これまで教育芸術社を使用した指導による成果が表れていると言えます。また、巻頭をはじめ、著名人から言葉が素晴らしく、影響を受ける生徒も多いと思いました。伝統芸能では、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八が写真とともに掲載されているので、生徒にとって分かりやすいと思いました。

学校意見、区民意見、共に教育芸術社に肯定的です。

以上から、私は教育芸術社を推薦します。

### ○高橋委員

音楽（器楽合奏）は、教育芸術社を選びました。ドラマーの石若駿さんのメッセージで始まり、「音楽って何だろう」では自分の、そして人のものというメッセージで生徒の興味・関心を高める工夫があります。

リコーダー、ギター、和楽器、打楽器、アンサンブルと何を学ぶか、どう学ぶかが分かるように分野別に色分けしてあり、見やすく分かりやすい。どの楽器も写真、イラストで種類や姿勢、奏法など基本の説明があり、様々な場面で演奏している写真と奏者のメッセージがあり、理解しやすくなっています。「学びのコンパス」で学習の手順が丁寧に示されていて、何を学ぶか、どう考えるかが的確に示されている。「マイメロディ」では、いろいろな旋律を創る創作活動があり、考えたいポイントを例示しています。「アンサンブルセミナー」では楽譜があり、音楽的な見方、考え方を働かせて学習するために考えたいポイントを示しています。リコーダーの運指表、ギターのキーボードコード表が掲載しており、確認ができます。

「楽譜の図鑑」は、様々な楽器を七つに分類して紹介されており、興味が持てます。

教科用図書調査委員会は、学校意見では肯定的意見が多いと報告されました。

以上の点から、教育芸術社を推薦します。

### ○三留委員

音楽（器楽合奏）は2社のうち、教育芸術社を推薦いたします。

全体的に親しみやすい選曲で生徒の興味を引き、意欲を促す構成になっており、器楽合奏で求められる資質・能力とそれに対応する学習内容や教材を記していると感じました。

冒頭には、中学生の器楽の学習内容が示してあり、効果的な表現をするために、どのような資質・能力を身につければよいのか示唆しているところがあります。音楽を形づくっている要素が示されていることも、必要なことと思います。

リコーダーを扱うページでは、教育芸術社は4ページにわたって奏法の説明について丁寧に解説しています。学習の初めにリコーダー演奏による名曲の鑑賞があり、意欲づけを図るにはよいと思いました。レッスン1の左手による運指から始まり、段階に従って様々な奏法の紹介をして少しずつレベルを上げていく構成です。個々の生徒の習熟を無理なく図るようになっていたと感じました。

学校意見で「リコーダーを扱っているページが多く、デジタル教材も使いやすい」という意見がありましたが、デジタルコンテンツをも活用して、基礎基本の確認など充実した器楽指導に役立つと考えました。伴奏のみが収録されたコンテンツがあるのも特色で、それに合わせて個々の生徒がリコーダーを演奏することによって、生徒の豊かな音楽表現や達成感に結びつく学習につながると感じました。

リコーダー以降の各楽器の奏法のページでは、生徒になじみの深いギターから入り、三味線などの弦楽器、太鼓、笛と学んでいくような順になっています。各楽器の奏法が様々な角度から写真で掲載されており、解説も明快で、生徒が演奏する場合の参考になると思いました。こちらもデジタルコンテンツを活用して、奏法が映像で見られるようになっています。

各楽器の奏法を紹介した後には、「バンドの世界をのぞいてみよう」「伝統の枠を超え

て活躍する和楽器」と生徒にとって興味深いページが続きます。特に「伝統の枠を超えて活躍する和楽器」にある和楽器が様々なジャンルに挑戦したり、バンドなど違うジャンルとの競演をしたりしていることなどについては、知らせていきたいことと思いました。

アンサンブル曲はクラシック、映画音楽、テレビ番組のテーマ曲、人気音楽プレーヤーの曲などを生徒になじみが深い多様なジャンルから選曲され、生徒に親しみやすく興味を持って学習を進めることができると考えました。

幾つかのページにあるワークシートも生徒の学びを深める上で適切と思いました。

教育芸術社は、紙面構成も分かりやすく、生徒の興味・関心を引く内容も多く取り入れられていると感じ、推薦することといたしました。

#### ○教育長

私も、音楽（器楽）は教育芸術社がよいと思いました。器楽はリコーダーから始まっておりますが、タンギングやサミングなどステップを追って技法を身につけ、上達することができるように思いました。

また、リコーダーの次にはギターの演奏がありますが、生徒の楽器への興味を考えた教材配置になっているように思いました。

ギターの後には同じ弦楽器の琴、三味線と続きますが、奏法の違いや音の響きを考えながら演奏していくには、効果的な流れであるというふうに思います。

また、楽曲については、教育芸術社は「美女と野獣」、「魔女の宅急便」、アラジンの「A Whole New World」など、ミュージカルや映画などで生徒たちがよく聞く曲があり、演奏への意欲が持てるのではないかと思います。

それでは、審議をまとめたというふうに思います。

審議では、教育芸術社を推す意見が多かったようでございます。音楽（器楽）については、教育芸術社が最も評価が高かったということでまとめてよろしいでしょうか。

（「異議なし」との声あり）

#### ○教育長

それでは、音楽（器楽）については教育芸術社といたします。

続いて、美術について審議いたします。

委員の皆様にご意見をお願いいたします。

#### ○弘瀬委員

美術に関しては、日本文教出版を推薦いたします。身の回りにある造形、美術品、文化遺産など伝統と文化に関する理解を深め、関心を深めてほしいとの願いがあります。

折り込まれているページを開くと、迫力ある作品を鑑賞することができます。富嶽三十六景の「神奈川沖浪裏」や「火焰型土器」など、すばらしいものが原寸大で見られることは喜ばしいことだと思います。

「社会に生きる美術の学び」では芸能人、デザイナー、その他の人たちから美術の力がこれからの人生や生活に大きく関わってくるということを掲載してあります。

これらの文章を読むと、児童・生徒もこれからの自分たちにどういうふうに影響してくるだろうとかいうことを考えることができるのではないのでしょうか。

「風神雷神図屏風」は、実際に教科書を折ることで、風になびく天衣等が立体的に見えます。また、「唐獅子図屏風」も同じように獅子の体が立体的に見え、動きも感じることができました。この屏風の趣向は、ぜひ感じ取ってほしいと思いました。

浮世絵のページでは、「神奈川沖浪裏」の2色の藍と喜多川歌麿の「ポッピンを吹く女」の髪の毛の生え際に、特殊印刷がされていると聞きました。実際に近い印刷となっているということで、この辺もぜひ子どもたちを感じ取ってもらいたいなと思いました。日本ならではの技法のすばらしさというものを感じてもらいたいと思います。

動画コンテンツ、二次元コードが豊富であること、導入、展開、まとめからできている技術ワークシートを活用することで、整理ができるというふうに思いました。

以上から、私は日本文教出版を推薦いたします。

### ○深澤委員

私は、日本文教出版を推薦いたします。

この教科書がよいと思った点は3点あります。

まず一つ目は、3冊の教科書全て、見開きごとにテーマが決まっていたという点です。例えば「光に気持ちを込めて」というテーマでは、ルノワールやモネの作品が掲載され、光が絵にどのような効果を与えているのかという問題提起がされていました。ルノワールの作品「ブランコ」では人々の顔や体に挿す木漏れ日が温かさを感じさせていましたし、モネの作品である「ルーアン大聖堂」では、夜明け、昼間、夕暮れの絵が並べて掲載されており、同じモチーフであっても、光の変化で同じ表情には見えない風景であることがよく分かりました。

生徒が光に着目して描いた作品は、いずれもよく見慣れている風景でありながら、光の表現具合で生徒が書いた生徒の今日が始まる希望や一日の喧騒がうそのように静かになった放課後の様子が表現されていました。このようにテーマを明確に決めて、生徒が造形を豊かに捉える多様な視点を持てる工夫がされている点がよいと思いました。

二つ目は、学びを支える資料が充実していた点です。「アーティストはどうやって作品を創るんだろう」というテーマでは、アーティストの方が実際に創られた作品が掲載され、その作品を創るためにその方が行った手順が示されていました。いずれもきっかけを探す、発想する、構想するという手順を踏むのですが、作品を創り上げる際の過程を文字や写真で実際に示してあるので、ユニークで分かりやすいと思いました。

その後、さらに「みんなはどうやって作品を創る」とつながっており、発想するときのコツ、構想するときのコツ、制作するときのコツなどが掲載されていて、生徒たちの作品づくりの参考になると思いました。

三つ目は、震災や戦争被害を描いた作品が掲載されていた点です。いずれの作品も被災の凄惨さとともに平和の大切さを物語っていました。特に東日本大震災直後の被災地を描いた加川広重さんの「雪に包まれる被災地」は、横16.4メートル、縦5.4メートルと大変大きく、臨場感のある作品でした。教科書に掲載されている写真からは分かりませんが、二次元コードで作者のメッセージを見ると、降り積もった雪の下に瓦礫のよ

うに見えたものの一つ一つが家であり、車であり、一瞬にして奪われた人々の生活の場でした。心が打たれました。絵画を見て、こんなに悔しく悲しい気持ちになるのだと思いました。生徒たちにも、芸術作品から平和や防災の大切さを感じ取ってほしいと思いました。

以上の理由から、日本文教出版を推薦いたします。

#### ○北内委員

美術は、日本文教出版を推薦します。

理由は、作品と内容が充実しており、生徒が自然に学びを広げることができるからです。また、作品の一つひとつが大きく、印刷の発色が鮮明で、各ページの情報量も適切と思いました。作品を、見開きで大きく紹介している点もよいと思いました。例えば、狩野永徳の唐獅子図屏風は、見開きで掲載され、紙面を屏風のように折り曲げることで、図の奥行きを実感できるように工夫されています。また、葛飾北斎の「富嶽三十六景」神奈川沖浪裏は、原寸大で掲載されています。古典から現代の作品までまんべんなく掲載され、最近の漫画・アニメ「宇宙兄弟」「ONE PIECE」「弱虫ペダル」の表現や「リボンの騎士」「進撃の巨人」のロゴなど、生徒が興味を持ちやすい題材を取り上げている点もよいと思いました。本区の「はねたのわたし弁天の社」（歌川広重「名所江戸百景」）も掲載されています。昨今のインスタグラムやユーチューブの発展に伴い、写真や動画による表現方法載せている点も生徒が興味を持ちやすいと思いました。

区民意見は拮抗しましたが、学校意見は日本文教出版に肯定的です。

以上から、私は日本文教出版を推薦します。

#### ○高橋委員

美術は、日本文教出版を選びました。生徒の作品が多く、作者の言葉とともにイメージしやすい内容で制作の参考になると思います。「社会に生きる美術の力」として、生活や社会の場でこそ力強く活かされるとあり、芸能人、デザイナー、技術者からのメッセージがあり、学習に取り組める工夫があります。

「鑑賞の入り口」は、作品から良さや美しさを感じとり、気づいてもらいたいことが示されています。学びの目標が、造形的な見方を豊かにする視点や技能に関するもの、発想や構想、鑑賞に関するもの、主体的に学習に取り組むものが示されていて、見方のヒントを示す造形的な視点や表現活動における発想、構想の手立てや技能の方法を示す表現のヒントなどからも学ぶことができます。

1年生では「美術の出会い」として見方や考え方に気づく学習、2・3年 上は「学びの実感と深まり」としていろいろな見方や表現方法を学び、2・3年 下では「学びの探究と未来」で深く見つめ追究すると、段階的に学習できます。

鑑賞では、1年生の表紙に続いて原寸大や習作と比べてみたり、2年生の表紙から続いては、様々な富士山を比べてみるができます。屏風絵、浮世絵、ピカソの作品など折り込みを広げて鑑賞でき、迫力を感じて興味深いです。絵や彫刻、デザインや工芸など、「学びを支える資料」では図解され、視覚的に理解しやすくなっています。「学びを支える資料」が充実していて、火焰型土器が見開きページに原寸大で掲載してあり、迫力を感じ

じ、とても理解しやすくなっています。

「アーティストはどうやって作品をつくるんだろう?」、「みんなはどうやって作品をつくる?」と技法などを丁寧に写真、イラストで示し、学習に役立つ資料になっています。「色彩の基本・仕組み」、「美術館へ行こう」が掲載してあり、鑑賞では岡本太郎、パブリックアート、北斎の「大波」、「日本の美術と世界の美術の歩み」では、年表も示しています。

絵巻物、漫画、仏像、受け継ぐ伝統と文化、世界の工芸品と色彩など興味・関心を持って学べる資料が掲載してあります。

教科用図書調査委員会は、学校意見では肯定的意見が多いと報告されました。

以上の点から、日本文教出版を推薦します。

### ○三留委員

美術は、日本文教出版を推薦いたします。3社から出されていますが、それぞれの社の冒頭ページは特色ある題材を示し、美術の学習へいざなうような構成になっております。

日本文教出版は1年の冒頭ページの美術との出会いで、ジョルジュ・スーラの「グランド・ジャット島の日曜日の午後」を取上げ習作との比較などを通して、形や色彩などに着目させています。

2・3年の上巻では、富士を題材とした作品を取り上げた「学びの実感と広がり」2・3年下巻では、現代アートを取り上げた「学びの探究と未来」という題材で多様な表現方法や問題を提起する力などに触れています。どれも構図や構成、表現の手法など学習指導要領に記載された美術の見方、考え方に関わるもので、今後の学習にいざなう上でよい取り上げ方と感じました。

1年では、「ようこそ美術の学びへ」というタイトルのページがあり、どんな分野で、どんな学習活動をするのか、3年間でどんな取組をするのかの外観が示されています。

各巻にある教科書の使い方は、効果的に各題材での学習が進められるよう、造形的な視点や表現のヒントなどについて解説され、必要なことと思いました。

3社とも各見開きページに学びの目標がつけられていますが、どの社も全てに「造形的な見方を豊かにする視点や、技能に関する目標」「発想や構想、鑑賞に関する目標」「主体的に学習に取り組むための目標」がきちんと示されています。日本文教出版の目標もよくできていると感じました。

鑑賞を含む題材には、必ず鑑賞の入り口の記載があります。題材に合わせた作品を見たり、感じたりするための視点を生み出させるような疑問文が示されており、生徒の主体的な取組につながると思いました。表現と鑑賞が一体となった学習が3年間積み重ねられるのも、日本文教出版の特色になります。

日本文教出版は、各ページの例示作品の内容が精選されていて、囲みとなっている表現のヒントもポイントを押さえており、学習を広げ深めるものになっていると感じます。

各社鑑賞のページとして、内外の作品を折り込みで紹介しています。日本文教出版は、観音開きのページ構成にも工夫があると感じました。例えば、2・3年生上では、浮世絵の作品を大きく見せ、前後のページで浮世絵や作品の解説、制作工程を記しています。

北斎の富嶽三十六景神奈川沖浪裏も原寸大で載せられています。表紙・裏表紙は同じく

北斎の富嶽三十六景凱風快晴の作品になっています。学校意見では、原寸大図版や浮世絵の高詳細印刷については、肯定的意見が見られました。

折り込みページには工夫があり、教科用図書調査委員会報告でも「1年の唐獅子屏風等、迫力ある作品を鑑賞することができる」とあります。鑑賞のための作品は、全体に見応えがあると感じました。

巻末は学びを支える資料として、各社様々な記述があります。

日本文教出版は、鑑賞に関する記述が多くあります。岡本太郎の「太陽の塔」、原寸大の「火焰型土器」などの作品をインパクトある表示で載せてあり、色彩豊かな造形を示すなど、生徒の多様な学習に結びつくと思いました。

巻末の学びを支える資料については、発想・構想、技法についてよい情報をヒントとなる記述が分かりやすく載せられていると思いました。

デジタルコンテンツも、技法に関わることや資料など多様なものがあり充実しています。各ページにある「学びのはじめに」のコンテンツについては、学校意見でも「導入として活用できる」などの意見がありました。

また、日本文教出版だけが1年、2・3年上、2・3年下と分けられ、唯一学年3分冊になっています。他の2社は、資料編を別冊にしている社もありますが、学習指導要領の内容が1学年と2学年及び3学年に分けられている関係で、2分冊になっています。

日本文教出版は、発達段階に即した記述で、学年ごとに使うこともできるので、3分冊が使いやすいとも感じました。

以上が、日本文教出版を推薦する理由となります。

#### ○教育長

美術については、日本文教出版がよいと思います。

日本文教出版は、生徒の心を引きつける美術作品が多数掲載されており、生徒たちの美術学習に対する意欲は高まるものと思います。

美術との出会いという1年生の教科書では、見開きで風神雷神図屏風、唐獅子図屏風などがありますが、金や緑などの発色も鮮やかで、生徒たちも屏風絵に対する関心を高めるものと思います。

また、アルタミラ洞窟の壁画、火焰土器、モナリザ、ゲルニカなどの作品が大きく迫力があり、そのほかにも多様な美術作品が鮮やかに掲載され、美術の美しさ、面白さ、多様さなど、美術への関心を高めることができると思います。

また、生徒の作品も大変大きく掲載され、掲載されている作品が美術に対する生徒の感性を育て、創作への意欲につながるものと思います。

それでは、審議をまとめたというふうに思います。美術については、日本文教出版が最も評価が高かったということでまとめてよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

#### ○教育長

それでは、美術につきましては、日本文教出版といたします。

それでは、ここで10分間、3時18分、19分までですね。休憩にしたいと思います。よろしくをお願いします。

#### ○事務局職員

事務局からご案内いたします。お手洗い等で一時会場の外へ出られる方は、再入場の際に改めて傍聴券を確認させていただきますので、傍聴券をお手元にお持ちの上、退場をお願いします。

再度会場にお戻りにならない場合は、傍聴券を回収させていただきます。これをもって退出される方は、出入口の係員へ傍聴券をお返しく下さい。よろしくお願いいたします。

(休憩)

#### ○教育長

それでは、再開いたします。

続いて、保健体育について審議いたします。委員の皆様にご意見をお願いいたします。

#### ○弘瀬委員

保健体育は大修館書店を推薦したいと思います。

保健体育では、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質能力を育成し、生活習慣の乱れやストレスなど健康に影響することを学ぶとされています。

体育分野では体力の向上、保健分野では健康、安全を中心に構成されています。

まず、学習の流れは、ステップ1で課題をつかむ、ステップ2、身につける、考える、ステップ3、まとめる、振り返るとなっています。この流れは非常に勉強しやすいと感じております。

学びを広げるための巻頭・巻末の資料や、特集資料が充実しています。ただ、内容が細かいということと、字が少し小さいということに少し懸念を抱いているところです。ほかの教科との関連性を持たせているところもいいと思いました。

大修館では、コラムに実例を載せていて警察の資料も他の教科書よりも新しい情報が載っていました。

また、性的マイノリティの人たちが抱える不安や悩みについても対応し、コラムでは制服デザイナーに性の多様性について聞いています。

がん教育については、その症状、リスク、早期発見・早期治療の重要性について解説していますが、特集資料ではがんの早期発見を促す活動やがんの三つの治療法について詳しく紹介し、がんの正しい知識が得られるようになっていました。

スマホの普及に伴い、健康被害も増えてきています。スマホと疲労、ブルーライトと不眠、ながらスマホと事故、ネット依存など具体的な健康被害を取り上げていました。

生殖機能の成熟で、受精、妊娠の様子をイラストのみでなく写真を使用していました。

自然災害から身を守るための行動の取り方について、気象障害と地震障害に分けて示しているところもよかったですと思います。

感染症のところでは、感染の予防では、導入でコロナウイルスについて取り上げていま

す。そのほか、インフルエンザ、結核、梅毒など詳細に説明しています。感染症の予防について、コラムで丁寧に説明し、結核の罹患率も現在10.0を下回ってきているということもきちんと説明しています。性感染症では、梅毒が増加していることもグラフを用いて説明しているところ、これも非常に大事なことだと思っております。コラムを使って啓発しているなど感染症について充実した内容が書かれていると思えました。

以上から、私は大修館書店の図書を推薦いたすことにしました。

#### ○深澤委員

私は、保健体育はG a k k e nを推薦します。

こどもには心身ともに健やかに育ってくれること、そして危険を回避して自分の体を守ることを切に望んでおりますが、それを学ぶのが保健体育であると考えましたので、そのような視点から、保健体育はG a k k e nがいいと思えました。

その理由は三つあります。一つ目ですが、G a k k e nは実習を通して方法を知ったり、身につけることを学習方法として示していました。心の発達の章では、自分の気持ちを上手に伝える実習があり、喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけの章では、たばこや薬物に誘われたときに断る実習がありました。断るときのポイントが示され、自分で書き込んでみる欄もありました。

実習を通して自分の考えをきちんと表示することで、身につく学習である点がよいと思えました。

二つ目は、性に関してです。中学生がほかの人には相談しにくい月経や射精についての悩みを、カウンセリングルームや情報サプリのコーナーでフォローしていました。また、生殖機能の発達による体や性意識の変化は個人差があることを随所で示しているのも、ほかの人と違うことで悩む生徒の不安を解消するのに役立つと思えました。

そして、自分自身の悩みだけではなく、一人ひとりの体と心が違うこと、多様な考え方や感じ方があるので、自分の気持ちを一方的に押しつけると相手を傷つけてしまうが、逆に相手から嫌われたくないと思えば我慢すると自分が傷つくことがあると、ここでも自分の意思をきちんと表示すべきことを示していました。

自分を大切にすることの生徒への意識づけができるよう、様々な面で配慮されているのがよいと思えました。

三つ目は、傷害の防止の章です。交通事故の防止では、三つの場面設定でどんな危険が起こる可能性があるかを掲げる課題解決学習、犯罪被害の防止では、二つの場面設定で、どんな危険が起きそうか、その危険を回避するためにどのような行動を取るとよいかを考える課題解決学習となっていました。

危険の予測を知識として学ぶのではなく、自分で考え友達と話し合ってみるという学習方法が実践的であり、身につく学習でよいと考えました。

以上の理由から、保健体育はG a k k e nを推薦いたします。

#### ○北内委員

保健体育は、G a k k e nを推薦します。

理由は、各章の始まりで学習の課題「わかる」「考える」が示され、学習の目的が明確

にされ、授業での生徒同士のディスカッションなど協働を通して、解説・写真・図・表・グラフから「エクササイズ」「学びを生かす」で、思考・判断・表現を育成できる構成となっているからです。更に、各章末の「探究しようよ！」で、より深い学びができるように配慮されているからです。知識の学習だけでなく、生徒に考えさせるように構成されているからです。

その他、心の発達では、具体的な実習を交えて、自分の気持ちを上手に伝える練習をしている点、例えば、友達が自分の考えや希望と違う提案をしてきたとき、仲間に加わりたいとき、大勢の中で違う意見を言いたいとき、メッセージのやりとりを終えたいとき、生活習慣病、がん、喫煙、飲酒、薬物乱用、感染症、性感染症、エイズなどの病気について考えさせている点、交通事故、犯罪被害、自然災害について、詳しく説明し、考えさせている点も推薦理由に挙げることができます。

学校意見、区民意見、共に拮抗しましたが、私は、生徒に考えさせるように構成されている教科用図書であるG a k k e nを推薦します。

#### ○高橋委員

高橋です。保健体育は、大修館書店を選びました。

巻頭に「世界中から選手や観客がつどう国際的なスポーツ大会」の写真、「私たちの成長と運動やスポーツの広がり」では、幼い頃、中学生の今、将来と分けた様々なスポーツ、「共生する社会をつくるため」では、金澤翔子さんの書と、様々な人々のメッセージ、「よりよい未来に向けて」では、SDGsの紹介ページで保健体育を学習する意義につなげるように工夫されている。学習は、「つかむ」、「身につける・考える」、「まとめる・振り返る」という順番で構成され、学びを深めていけます。

「つかむ」では、単元ごと色分けされていて、見開きページで単元に関する写真が掲載してあり、小学校で学習したこと、この章で学習することを示し、学習を始める前に見通しが持てます。

「課題をつかむ・今日の学習」、「キーワード・学習」のまとめが取り組みやすく工夫されていて、キャラクターのコメントも学習の手立てとして活用できます。

ページ下段の「ほり下げる」は、本文に出てくる言葉を詳しく説明してあるので分かりやすい。

性の多様性、健康な生活と病気の予防についても丁寧に示されていて、中学生が取り組んでほしい学びです。

感染症と病原体では、新型コロナウイルス感染症も取り上げてあり、コロナ禍の振り返りができます。

実習では、リラクゼーションの方法、心肺蘇生法、止血法、包帯、固定法が写真イラストで丁寧に示され、知識として活用できます。

コラム、事例、保健の窓、体育の窓、特集資料は、学習を深めることができます。

「見直そうスマホの習慣」では、インターネット依存症チェックがあり、「がんの早期発見を促す活動」では、ピンクリボン運動やがん検診啓発運動が示されていて、大切な学びになっています。

「ストレスと心の健康」では、タレントのはるな愛さんのメッセージと相談できるとこ

ろが掲載してあり、学びに役立つものでした。

巻末には、新体力テスト、用語解説、体のつくりと働きが詳しく掲載してあり、学習に活用できます。

教科用図書調査委員会は、学校意見では肯定的意見が多いと報告されていました。

以上の点から、大修館書店を推薦します。

### ○三留委員

保健体育につきましては、G a k k e nを推薦いたします。

今回の保健体育科の教科書では、どの社も課題解決的な学習を重視した構成になっています。これまでの保健や体育理論の授業では、教師の説明や、教師と生徒のやり取りの活動が見られることもありましたが、指導観が大きく変わったことが示していると思いました。

4社共に、冒頭に保健体育の学習方法として、学習の流れを解説しています。G a k k e nは、この教科書の使い方のページで、課題の発見、課題提示、課題解決、学びの活用について解説しています。また、様々な学習方法として、事例を用いたディスカッション、ブレインストーミング、コンピュータなどの活用に言及しています。

今回、各社学習指導要領で示された課題発見につながる各ページの記述が充実しています。

G a k k e nは、ウォームアップというタイトルで課題につながる話題提示や体験の掘り起こしをしています。ウォームアップの記述を見ると、生徒に興味・関心を持たせ、課題発見のための提示内容として優れていると感じました。

課題把握のための問いとは別に、ねらいに結びつく学習課題を明確に挙げているのはG a k k e nを含む2社です。他社は、課題発見とは別の場所に、語尾が理解する、考えるなどの目標提示にとどまっています。

当然、どの社の教科書を使っても、生徒に課題提示をして学習を進めることが望ましく、やはり課題は教科書のページの中に文章として示したほうがよいと思いました。

G a k k e nの特色は、「分かる」という概念把握のための課題と、「考える」という思考喚起のための課題を二つ提示していることです。学校意見の中に、課題を知識と思考判断に分けていることに肯定的な意見が見られました。

G a k k e nの教科書は、単に知識を習得させるのではなく、考えさせたり、自己決定させたりすることを盛り込んでいる教科書で、これからの保健体育学習においては必要なことと思いました。

実際の授業においては、「分かる」の課題達成を基に授業を進めていきますが、その中で、何を考えればいいのか明示している「考える」の課題を生徒が意識して学習を進めることは大切なこととも思いました。

G a k k e nは、章のまとまりを大切にしている教科書と感じました。章の初めに章の学習に関連する前提情報としての写真や話題を取り上げることで、章の学習に関わる興味づけを図り、学びにいきなっています。小学校、高等学校での学習のつながりを記載しているのもよいと思いました。この導入ページには、「考えたり選んだりそれを伝え合ったりしながら学習を進めていこうと」というコーナーがあり、思考力、判断力、表現力の育成

につながる活動を示唆しているのもよいと思いました。

各章の発展として、「探究しようよ」というページがあるのもG a k k e nの特色です。章の学習は、発展として取り組める様々な研究テーマとヒントが記載されています。

教科用図書調査委員会報告には、「G a k k e nは章末に『探究しようよ』が設けられており、学習を振り返り、深い学びにつながるように構成されている」とありますが、生徒が興味を持ったことについて追究したり、教師が押さえない内容をさらに調べさせたりするなど、多様な活用の仕方ができると思いました。

どの社も課題の近くやページ末に学習の手がかりとなるキーワードが示されていますが、G a k k e nはその選定がよく、章末にも章で学んだ全てのキーワードを掲載しています。保健体育の学習においては、キーワードを示し確認しながら見通しを持って学習することも大切だと思いました。

G a k k e nの教科書で特徴的なことは、「エクササイズ」という課題解決につながる活動が囲みで示されていることです。課題に対して、考えを深めるための有効な活動や作業は示されています。考えたり意見交換したりするための具体的な学習内容、活動が示されており、授業の充実、活性化につながります。対話的・協働的活動を意識してつくられていると感じました。

ページ末にある「学びを生かす」については、内容に関連性がある発展的な取組の課題が載せられています。学級、生徒の実態に応じて柔軟に取り扱えると思いました。

また、G a k k e nは本文が分かりやすく、学校意見に、「図が見やすい」「イメージが付きやすい」などとあるように、資料が洗練されていて、適切なものが多いと思いました。

ストレスへの対処のページでは、「心と体の関わり」から入っていますが、妥当な入り方と思いました。本文に関連した資料として、「心と体の関わり」についてイラストの入った分かりやすい図が示されています。資料は、本文の記述に合わせて、「心の問題が原因で起こる好ましくない反応」「欲求の種類」「欲求不満が起こったときに見られる行動」と、他社とは違う視点の資料が多く見られます。

「ストレスとは何か」の学習では、心身をゴムボールに例えて図解しています。本文では、「ストレスは一般に嫌なものと思われがちですが、適度のストレスは心身を発達する上で必要です。しかし、ストレスが大き過ぎたり長く続いたりすると、心身に深刻な影響を与えることがあるので、ストレスには適切に対応する必要があります。」と書かれています。資料も本文も生徒にとって分かりやすく実感しやすいと思いました。

新型コロナ感染症のことがあったので、感染症に関わる記述も比較してみました。今回検定があった教科書は、新型コロナウイルスについての記述があるものの、どの社も具体的な事例としたり、本文で大きく扱ったりはしていませんでした。

新型コロナウイルス対応の教訓は、しっかりと残していく必要があると考えていますが、5類となったことや対応に評価が定まらない部分もあり、あまり載せられなかったのではないかと推測しました。

そうした中、G a k k e nは、感染症を扱う「健康な生活と予防」の導入ページで新型コロナウイルス感染症の流行中にマスクをして歩く人たちの写真を裁ちきりで大きく掲載しています。この写真は、新型コロナウイルス感染症流行中の状況を想起するためによい

資料で、こどもたちから様々な意見が出されると思います。感染症の予防のページには新しい感染症として紹介され、病原体の写真も掲載されています。こうした記述等を活用して、新型コロナウイルス感染症に関わる教訓を生徒にしっかり残してもらいたいと思いました。感染症の広がり方や予防についても、G a k k e nは分かりやすくまとめてあると思いました。

G a k k e nの特色として、読み物が充実していることがあります。コラムは短い文章で分かりやすくまとめてあります。「睡眠を科学する」「スマートフォンなどと健康」など、生徒に読んでもらいたいものが多くありました。各ページの下にある「情報サプリー」も、学習内容に関連した必要な情報が示されています。例えば、薬物乱用のページの情報サプリーは、妊婦や男性の精子への悪影響などについて述べられています。他社には、ここまでの記載は見られませんでした。

そのほか、各章の扉ページにある、「ひと・もの・こと」の囲みの内容も興味づけの話題としてよいと思いました。

G a k k e nは、生徒の主体的な学習を支える構成となっており、ポイントを押さえた分かりやすい記述で全般的に授業のしやすい教科書と捉え、推薦することといたしました。

## ○教育長

私は、保健体育はG a k k e nがよいと思います。

保健は、健康や安全などについて学ぶ学習ですが、思春期を迎え心も体も大きく変化成長する中学生にとって、健康な生活が送れるように自ら判断し、行動していく力を身につけていくことが、何よりも大切だというふうに思います。

そのためには、栄養や運動、睡眠などのバランスなど健康について知識をしっかりと得るとともに、基本的な生活習慣などを身につけ、自分の心や体を健康に保てるように判断し行動できることが大切だと思います。

G a k k e nの教科書では、本時の学習の課題として必ず考えるという課題があります。また、毎時間の週末に学びを生かすという欄があり、例えば自分で自分を褒めたいと思うような体験をしたことがありますか、振り返ってこれまでの体験を書き出して紹介しましょうなど、自分を振り返って考え、それを話し合いの中で深めていくことができるような保健の授業が展開されるようになっております。

今、健康や心、体に対する情報はたくさんありますが、私は知識として覚えるだけではなくて、考えたことを人に伝えたり、自分だけではないと思ったり、判断や行動するヒントを得たり、励まされたりしながら健康について十分自分で考え、行動する力を身につけてほしいと思っております。

以上のような意見で、私はG a k k e nがよいと思います。

それでは、審議のまとめをいたします。

保健体育につきましては、大修館を押す声もありましたが、G a k k e nが最も評価が高かったということでまとめてよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

○教育長

それでは、保健体育につきましては、G a k k e nといたします。

続いて、技術・家庭の審議を予定しておりましたが、審議対象の教科書の一部の画像を削除、修正するという情報を得ました。

それについて確認する必要がありますので、本日は技術家庭の審議は行わず、別途行うことといたします。それでよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

それでは、続いて英語について審議いたします。

委員の皆様にご意見をお願いいたします。

○弘瀬委員

英語は三省堂を推薦いたします。

中学の英語では、コミュニケーション能力の基礎を養い、身近な話題について理解し、簡単な情報交換や表現ができる能力を養うことを目的としております。その目的に向かって、使いやすく理解しやすい内容の教科書を選択させていただきました。

小学校で学んできた語句、表現を振り返るために、ゲーム感覚で楽しみながら行うことができます。例えば、サイコロトーク、単語探しゲーム、大文字・小文字の確認などがそれにあたっております。あと、構成が学びやすく分かりやすいというふうに思いました。

レッスンの扉から段階的に学び、最後はゴールアクティビティに向かう。技術、音楽、社会、道徳などとの横断的な視点に立った広い視野で思考・判断をし、表現するようになっていきます。

例えば、社会では公平性とはということについて、理科では電気を使わないで水を集める仕組みを学び、自然と共生について学びます。

また、キャラクターのストーリーを見ながら楽しみながら学べるというところが、子どもたちにとっても非常になじみやすいと感じました。アニメーションを使って復習することもできました。発音チェック、英語辞典、文章を復習したいときには動画、基本分のドリルなど自分のペースで学べることのできるコンテンツが豊富であるということも、子どもたちにとってはいいのではないのでしょうか。

小学校で習った、聞く、話す、振り返りで整理することで、中学校の読む、書く、への導入が比較的しやすい教科書だと思い、三省堂を推薦いたします。

○深澤委員

私は、英語は三省堂を推薦します。

三省堂の教科書は二次元コードが充実している点と、英語4技能がバランスよく構成されている点がよいと考えました。

まず、二次元コードについてですが、ネイティブスピーカーが教科書の文章を読んだ

り、話す速度が適度である点がよいと思いました。

会話で出てきた単語を音声で聞く、自分の発音をチェックする、単語帳機能等、生徒の学習に役立つコンテンツも豊富でした。

英語4技能のバランスについてですが、シーン1、2では、ストーリーを読む、聞く学習を行い、シーン3では、ペアでやり取りをする実践的な学習が取り入れられていました。

そして、単元の終わりにあるゴールアクティビティでは、その単元で学んだ文法が出てくる長文を読んで要旨をつかむリーディングや、自分の考えを英文にしてみる、いわゆるライティングが掲載されていました。

リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングという英語4技能をバランスよく学習できるように工夫されており、さらに二次元コードをうまく活用して英語学習を継続すれば、実践的な英語の力がつくと思いました。

文法については、単元ごとにランゲージフォーカスがあり、そこで説明がなされていますが、二次元コード上で動画でも説明されていますので、授業で分からなかった部分を自習で補うことができる点もよいと思いました。

さらに、二次元コードでは、その単元の文法を使って基本文の練習をすることができました。

学校意見では、全体的に内容が複雑である、生徒には長文問題が難しいように感じる等の意見がございましたが、二次元コードが充実しており、学習をサポートしてくれますので、英語に苦手意識を感じている生徒は、二次元コードを積極的に活用し、自習することで力をつけていくことができますし、英語が得意な生徒は何度も読む、聞くを繰り返すことで、さらに学習を深め進めていくことができるので、全体的によい教材であると思いました。

以上の理由から、英語については三省堂を推薦いたします。

#### ○北内委員

英語は三省堂を推薦します。

理由は、小学校でも三省堂を使用し、英会話やプレゼンテーションなど協働的な学習をしてきたので、1学年導入部の英会話は、生徒にとって親しみやすいと思いました。

挿絵や写真が適宜用いられ、理解の助けになります。デジタルコンテンツが充実しているので、個別最適な学びができるように配慮されています。

また、文法、例えば前置詞は挿絵を交えて説明されているので、生徒にとって分かりやすいと思いました。

言葉は文化なので、英語圏の文化的背景を学べる教科用図書がよいと思いました。三省堂3学年のアメリカの公民権運動の指導者マーティン・ルーサー・キング・ジュニアの話、「I have a Dream」はその文化的背景の一部を学べる教材です。

そのほか、アリスの話やピーターラビットの話など、物語が充実している点も推薦理由に挙げることができます。

英語に関しては、本区学習効果測定結果及び第3期大田教育ビジョンの事業実績と評価から三省堂を使用した指導による一定の評価が表れていると言えます。

また、その内容は第4期大田教育ビジョンとも合致しています。  
区民意見は拮抗しましたが、学校意見は三省堂に肯定的です。  
以上から、私は三省堂を推薦します。

#### ○高橋委員

高橋です。英語は三省堂を選びました。

小学校の学びを振り返りながら、学習するスターターで会話や英語の音、文字の確認「マイ ディクショナリー」で語句や表現を確認します。1年生は、「自己紹介」「スポーツ」「非常食」、2年生は、「将来の夢」「環境問題」「文化紹介」、3年生は「平和」「公平」「デザイン」を題材としてストーリーを楽しみながら学ぶことができるように工夫されています。

パートの初めには導入のページがあり、スモールトーク、イラスト、写真でレイアウトよく学習の流れが分かりやすく、学習の見通しを立てることができます。

「トークアクション」で聞く、話す・読む学習、「ランゲージフォーカス」で文法を学びます。

チェックでは、それぞれのパートで学習する基本文を囲みの中に示し、大切な表現は確認できるように太字で示されている。英語で、聞く、書く、読む、話す活動が記号で示されていて分かりやすい。

エクササイズは、パートごとに取り組む問題があり、英語活動の学習ができます。

ノートの欄には、題材の背景知識や注意が必要な語句についての説明があり、活用できます。

学習の流れは、パート1、2でストーリーを楽しみながら聞いたり読んだりしよう。3で身近なことについて伝え合い、工夫しながら話し続けよう。ゴールアクティビティで内容と構成を意識して書いたり話したりしよう。リアルな題材を自分たちに引き寄せて考えようとして示されています。

資料には、読み物、英語の歌、教室で使う英語、基本文のまとめ、規則動詞活用表、単語、単語の意味、会話表現、トークアクション、ロールプレイシートがあり、また、学びの振り返り、自己チェックで確認ができる。

巻末には、「二次元コードを活用しよう」で使い方などを確認できます。

発音チェック、単語をマスター、基本文をマスター、その他、辞書や動画で学びが深められます。

教科用図書調査委員会は、学校意見では肯定的意見が多いと報告されました。

以上の点から、三省堂を推薦します。

#### ○三留委員

英語は三省堂を推薦いたします。

英語の教科書については、前回の教科書から小学校で外国語が教科化され、今回も小学校で一定の学習経験を積んだ生徒を指導するという前提のつくりになっています。

小学校で600から700程度の単語に触れ、文や文構造について学んできた新1年生の初期指導が大切になってきます。

多くの社が1年生の教科書においては、初めに小学校で学んだ表現等を生かした学習を取り入れ、接続を図っています。

三省堂は、Starterというタイトルで小学校の学習を振り返り、活用するページをしっかりと取っています。初期段階の生徒の実態に合わせて、様々な場を設定して学習指導を進められるようにしています。

ビンゴやサイコロトークなど、中学校で最初に学ぶ生徒にとって興味深い活動も用意しています。さらに、英語の文字と音について確認するとともに、小学校で学んだ表現の一覧が載せられ、各レッスンの学習に活用できるようにしています。

三省堂のStarterについては、内容も量も適切に感じました。

また、1年生の当初には、手書き文字に近いユニバーサルデザイン系の書体を使用するなどの工夫も見られます。

教科書の冒頭には、「仕組みと学び方」があり、レッスンの学習の流れの仕組みとゴールイメージが示されているのもよいと思いました。

各レッスンの扉には、学習に興味を引く写真等は掲載されています。これから登場する場面の状況に関連した学習へ、いざなうための問いが示されているのもよいと思いました。写真やイラストも鮮明で見やすく感じました。

三省堂は、全体的に生徒の関心の高い教材を用意し、キャラクターを効果的に活用してストーリーを楽しみながら学ぶことができるように工夫されています。

単元構成も段階的に学びを深めていくようになっていきます。扉で、学習の見通しをもたせ、聞くこと、話すこと、書くこと、読むこと、4技能を5領域の学習をバランスよく学ぶことができます。場を設定して、英語を使う必然性を感じられるような内容もよいと思いました。

学校意見の中に、「学びのプロセスが見える化し、学習の流れが分かりやすい構成になっている」がありますが、学びやすさ使いやすさを感じました。

リーディング教材も充実しています。単に英文を読むだけでなく、生徒が考えを深めたり、友達と意見交換したりする活動なども入れています。学期に一つずつ長文の読み物教材を配置していますが、生徒の興味を引きそうな内容があると思いました。

巻末の資料も、各領域に関わる内容が充実しています。資料ページの最後には、学年の学びを振り返るページがあります。Can-Doリストは、3年間の学習の中で身につけるべきリストで、生徒が見通しを持って学習する上でも必要と思いました。

自分の力で何ができるのか、ここにあるリストを活用していくことも大切と感じました。

多くのページにQRコードがあり、デジタルコンテンツが豊富です。本文の音声だけでなく、単語や基本文の確認、動画など様々な学習情報を得ることができます。ドリル、単語の練習、アニメーション、動画のほか、自分の発音をチェックする発音チェックなどもあります。

教科用図書調査委員会報告によると、「学習に役立つデジタルコンテンツが使用できるなど、個別最適な学びをサポートしている」とありますが、英語科においては、デジタルコンテンツの活用は、今後、一人ひとりの学びに大切になってくると考えました。各学年の最終ページ、いわゆる表3にあたるには、二次元コードを活用しようがありま

す。生徒が二次元コードを使う際の確認に使えます。

デジタルコンテンツが充実しているのも、三省堂の特色とと思いました。

以上が三省堂を推進する理由となります。

#### ○教育長

私も英語は三省堂がいいと思います。

本区では、生徒たちが未来を創り出すための大切な力として英語教育の推進に取り組んでいます。中学校3年生の英検3級の取得率は現在約6割ですが、5年後には8割の子どもたちが英検3級程度を取得でき、海外の人と英語で話し合うことができるように、英語教育の充実を目指しています。

また、昨年から都の英語のスピーキングテストが全中学生を対象に始まりましたが、生徒の英語で話す力は引き続き課題が多い状況が見られます。

三省堂は、英語で自分の考えや思いを伝え合う教材が多く、英語によるコミュニケーションの力を身につけることができるように思います。

また、三省堂は二次元コードの動画資料が豊富です。3年生のリーディングレッスン3では、アメリカの黒人差別に対する文章が載っています。「I have a Dream」というキング牧師の有名な演説場面などが動画資料となっています。

人種差別解消は国際的な課題で、そのような動画資料にも目を向けさせ、世界的な課題にも目を向けながら、英語の力が身につくようになってほしいというふうに思っております。

さらに、二次元コードでは、文法について説明する動画もあります。文法も英語を理解するために大切であると思いますが、二次元コードで繰り返し動画を見ることで理解が深まるとともに、授業では英語で話す、聞く、読むなどの活動の充実が図れるのではないかとこのように思っております。

それでは、審議をまとめたいというふうに思います。

英語については、三省堂が最も評価が高かったということでまとめてよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

#### ○教育長

それでは、英語については三省堂といたします。

それでは、最後に道徳について審議いたします。

委員の皆様のご意見をお願いいたします。

#### ○弘瀬委員

特別の教科、道徳に関しましては、日本文教出版を推薦したいと思います。

道徳には四つの視点があると言われていています。主として自分自身に関する事、そして、他人との関わりに関する事、自分や崇高なものとの関わりに関する事、集団や社会との関わりに関する事、以上の視点に基づいた教科書を選びたいと思います。

どこの出版社も、いじめ問題、情報モラル、命に関する教材が掲載されています。その中で最も日本文教出版の道徳の教材は、どれも優れていると感じました。

いじめの未然防止が最も重要なテーマとして、各学年に掲載されています。大田区立糀谷中学校が行っているいじめ防止プログラム、生徒同士の主体的な支え合い、スクールバディの紹介が掲載されています。

教材とコラムを組み合わせ、よりよい社会を考えるがあります。ウェルビーイングを意識して、様々な職業の人の生き方を取り上げていました。

分冊になっている道徳のノート、その最後のページに、先生、保護者の方へと書いてあるところをぜひ読んでもらって道徳の教科書とともに保護者の方にも読んでもらいたいと思いました。親子でいろいろな話をして、こどもの成長を見守ってほしいと思っております。

教科書の発問は二つ、自分にプラスワン、自分の生き方にプラスしたいことを考える、そして、考えてみよう中心的発問例を示しています。

防災、生活安全、交通安全の教材やコラムが掲載されています。コラムでは、インターネット、SNS、AIの特徴と注意点が掲載されていました。

巻頭に学び方のミニ教材があり、生徒が主体的に取り組めるようになっていました。

以上から、日本文教出版を推薦したいと思います。

#### ○深澤委員

私は、道徳はG a k k e nを推薦します。

G a k k e nでは、道徳を自分にとっての答えを探したり、見つけたりする時間であることを示した上、考えを深める四つのステップとして、見つけよう、考えよう、話し合おう、生き方につなげようという学び方を提唱し、さらに、深めようという項目では、そのステップを実践することができました。

構成や発問はシンプルであるため、様々な価値観について、多面的、多角的な視点から考えることができ、生徒がさらに新しい見方や考え方を生み出していける教科書であると思いました。

また、題材も生徒が自分の生き方や将来に結びつけて考えることができる読み物、命について考える契機となる読み物が多数ありました。

まず、生徒が自分の生き方や将来に結びつけて考えることができる読み物としては「三人の誓い大山捨松」が読みごたえがあると思いました。捨松は、女性への教育を目指して留学から帰国しましたが、時の政府の方針が変わり、教職に就けなくなってしまいました。そこで彼女は結婚し、社交界で人脈をつくり、現在の津田塾大学設立に寄与して夢を実現したという話です。

誰にでもうまくいかないときはありますが、そのとき自分にできる最善の道を模索し、ピンチをチャンスに変えることができます。これからの予測困難な未来に生きるこどもたちにぜひ読んで、自分たちの生き方のヒントにしてほしい題材であると思いました。

また、ものづくりに関する題材がたくさんありました。フリクションや痛みの少ない注射針がどのように開発されたかを書いた「ものづくり」、町工場がどうせ無理という言葉がこの世界からなくすという夢をかなえるために宇宙ロケットをつくる事業を始めたとい

う「町工場から宇宙へ」、宇宙のごみとなっている役目を終えた人工衛星やロケット上段などを除去するサービスの提供を始めた会社を描いた「世界一厄介な問題」、これらの題材の主人公は、いずれも、誰もやったことがないからできないではなくて、誰もやったことがないから自分がやってみようという発想でイノベーションを起こしてきました。

本区は、おおた教育ビジョン個別目標1で、予測困難な未来社会を創造的に生きる力を育成することを目指していますが、その施策の一つとして、令和7年度から区独自の教科である、おおたの未来づくりの全校実施を目指しています。

本区の生徒には、これらの題材をぜひ読んで新たな価値を創造する意欲と力を養ってほしいと思いました。

そして、命について考える契機となる読み物は、各学年、五つから七つ掲載されていました。その中で、こどもを死産した母親が、その日の夜、自然とにじみ出てくる母乳を亡くなった赤ちゃんの口元に運んであげていたということのを助産師さんの目線で書かれている中2の、「そこにいるだけでいい」というお話は、生きていることは当たり前ではないこと、生をうけこの瞬間にここにいることのすごさ等、命の尊さを実感する印象的なお話でした。

学校意見、区民意見では、現在中学校で使用されている日本文教出版の別冊の道徳ノートが使い勝手がよいという意見が多くありました。この点、G a k k e nでは、各学年の巻末に学びの記録と学びのメモの欄があり、こちらを評価する意見もありました。

私も、道徳の学びの記録をつけるという点では、G a k k e nのワークシートでよいのではないかと考えました。

以上の理由から、私は道徳についてはG a k k e nを推薦いたします。

#### ○北内委員

道徳は、日本文教出版を推薦します。

理由は、「キャプテン翼」や「ハイキュー!!」など、生徒にとって親しみやすい題材を取り上げ、授業での生徒同士のディスカッションなど協働を通して、考えさせる構成となっているからです。また、各学年、別冊で道徳ノートがあり、発問が記載されていないので、生徒・先生に適した授業づくりができるからです。また、生徒にとって身近な話題である大田区にちなんだ教材が掲載されている点も良いと思いました。

1学年158頁「私は清掃のプロになる」（羽田空港）、2学年44頁「生徒同士の主体的な支えあい—スクールバディー（糀谷中学校）、2学年92頁「小さな工場の大きな仕事」（羽田の町工場）。具体的に一つ上げると、漫画家「キャプテン翼」の高橋陽一さんからのメッセージで、「皆さんも好きなもの、夢中になれるものを見つけて頑張ってください」とあります。おおたのこどもたちには、是非、夢中になれるものを見つけてほしいと願っています。

区民意見は拮抗しましたが、学校意見は日本文教出版に肯定的です。

以上から、私は日本文教出版を推薦します。

#### ○高橋委員

高橋です。道徳は日本文教出版を選びました。

冒頭に、内容項目の四つの視点を色と形で判別できるように示され、「学びのキーワード」が明示され、理解しやすくなっています。

全ての教材が右のページから始まり、登場人物を紹介し、挿絵などで内容を理解でき、見やすく読みやすいと思いました。

各学年の初めは、「ミニ教材で考えてみよう」があり、気づく、考える、議論する、深める、見つめる、活かすを先生と生徒のコメントで学んでいける工夫があります。

複数の教材とコラムを組み合わせたユニット「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」を年間に複数回配置し、継続的に考えられるようになっています。

「あすへのメッセージ」「視野を広げて」「学びを深めよう」「学びを深めるヒント」などのコラムでは、興味関心を持ち、学びをサポートすることができます。また、「受け継ぐかたち・思い・地域のよさ」では、各県の祭り、受け継がれてきたものが紹介されています。

教材やコラムで大田区が紹介され、大田区の生徒にとって興味関心が持てると思いました。

別冊「道徳ノート」は、教材ごと、自分の考えや他者から学んだ内容、話合いのメモなどが書けるようになっており、各活動の充実が図れます。

教科用図書調査委員会は、学校意見では肯定的意見が多いと報告されています。

以上の点から、日本文教出版を推薦します。

### ○三留委員

道徳は、日本文教出版を推薦いたします。

各社道徳の教科書の冒頭には、道徳科で学ぶことや学ぶための方法を記載しています。

日本文教出版は、「道徳の学びを始めよう」というタイトルでキャラクターと吹き出しを用いて、目標や学習方法について解説しています。さらに、「ミニ教材で考えてみよう」という学習方法をつかませるためのページがあり、気づく、考える、議論する、深める、見つめる、活かすの各段階での具体的活動例を示しています。どちらも学年の道徳を始める前の資料としてあったほうがよいと感じました。

教科としての道徳が生まれた大きなきっかけとして、全国で発生したいじめ問題の影響があります。いじめについては、道徳でしっかりと取り扱う必要があると思っています。

どの教科書会社も、いじめについて触れていますが、私は日本文教出版の取り上げ方がよいと考えました。

日本文教出版の教科書の特色として、ユニット教材を用意していることがあります。

「いじめと向き合う」というユニット教材が各学年で数か所あり、学年最初のユニットには、いじめについて学び考えるための投げかけの文章があり、よいと思いました。

さらに、これも日本文教出版の特色である、「視野を広げて」というページには、関連した様々な記述があります。例えば、1年生の「いじめって何」というページでは、いじめが悪化する状況といじめがなくなる状況について図と文章で分かりやすく解説しています。

一人で悩まず相談できる人、できるところに相談することを示唆する投げかけもありました。3年生のページには、「お互いを大切にするコミュニケーション」があり、コミュ

ニケーションの方法や傾聴、アサーティブ・コミュニケーションなどについて紹介しています。

「いじめをなくすために」というタイトルの2年のページには、先ほどから多くの委員から話がありましたように、大田区内の中学校のいじめ防止プログラム、「生徒同士の主体的な支え合い」の活動が紹介されています。

いじめに関わる資料も充実しています。

1年生にある「さかなのなみだ」は、他社でも取り上げているところがありますが、さかなくんの体験と魚の社会のいじめについて掲載しています。

2年生の「いじめと向き合う」のユニットにあるリスペクトアザーズもよい作品と思いました。海外に在住経験のある生徒の差別や偏見に関わる思いをつづったもので、中学生人権作文コンテストの作品となります。私は、興味があって中学生の人権作文を読んでいます。人権に対して真剣に考え、課題解決のための様々な意見が表れていて感銘を受けています。同世代の中学生の体験に基づく生の意見、考えであり、こどもに課題意識をもたせ、深く考えさせることのできる資料と思いました。

いじめに関わることについては、繰り返し事あることに取り上げていくことが大切と考えています。

家族愛の内容項目では、高齢者、障がい者に関わる家族について書かれています。2年「きいちゃん」や3年「1冊のノート」など、優れた資料が掲載されていると思いました。高齢者、障がい者についての人権課題を解決していくことは、これから大切なこととなります。

生命尊重についても、各社できちんと取り上げて、各社それぞれに様々な工夫がありました。日本文教出版は、2年生、「命を見つめて猿渡瞳さんの646日」など、優れた資料が多く、こうした資料で命の大切さを学んでもらいたいと思いました。

各社で多く取り上げている資料の扱いについて比較してみました。

各社では、資料の最後に、「考えよう」「深めよう」「見つめよう」「学びの道しるべ」というようなタイトルで生徒に考えさせる中心発問を示しています。複数の問いを示す社もある中、日本文教出版は「考えてみよう」という資料に対する中心発問を一つ示して、考えさせるようにしているのが特色です。さらに、「自分にプラスワン」で、自分たちに広げたり一般化したりする投げかけをしています。こうした構成はよいと思いました。

遵法精神、公德心の内容でもある「二通の手紙」という教材は、付録として取り扱っている1社も含めて、全社で取り上げられています。動物園の入園時刻等の決まりを知らず、事情のある幼い姉と弟を入園させた、元さんというベテラン職員に母親から感謝の手紙と園からの懲戒処分の2通の手紙が来て、元さんが職場を去っていくというような話です。

各社の発問は大きく、「元さんが職場を去ったわけ」「2通の手紙に考えさせられたこと」の二つに分かれます。日本文教出版は、「2通の手紙に考えさせられたこと」についてですが、「2通の手紙を見比べた元さんが、この年になって初めて考えさせられたことは、どんなことだろう」という見比べたこと、この年になってということについても触れていることが大切と感じました。

よりよく生きる喜びの内容である、足袋の季節も7社中6社の2年または3年で取り上げられています。

「小樽の郵便局の給仕をしていた作者が、生活が苦しい時期に、大福餅を売るおばあさんの勘違いと知りながら、寒さしのぎの足袋を買うために釣銭を多く取ってしまったことで後悔を繰り返し、おばあさんに会いに行こうとしたときには、おばあさんは亡くなっていて、川の橋にもたれ、自分に腹を立て泣けてどうしようもなかった」というような内容で、人物の価値葛藤がよく表れた作品です。

多くの社が、「無性に腹が立ったわけ」「泣けてどうしようもなかった心情」を発問にしていますが、日本文教出版は「二度と謝ることができなくなった私は、自分の弱さとのように向き合って生きていったのだろう」という発問になっています。本質に迫る問いになっていると思いました。全体的に、日本文教出版の発問の設定はよいと捉えました。

また、日本文教出版は、「学びを深めよう」という見開きを設けて、課題解決や話合いの仕方などについて解説をしています。

「2通の手紙」「足袋の季節」の資料にもつけられています。話合いの仕方の例や考えの整理の仕方、学びを深めるヒントなどが掲載されていて、学習を進める上で効果的と思いました。

国際理解、国際貢献の内容項目では、中村哲、杉原千畝、マララ・ユスフザイ、トルコ船エルトゥールル号を扱った作品がありますが、「国際都市おおた」「多文化共生」を目指す大田区の生徒には知ってもらいたい内容と思いました。

日本文教出版には、2年に大田区の工場を題材とした「小さな工場の大きな仕事」という教材があります。また、1年に羽田空港で清掃業務に携わる方を取り上げた「私は清掃のプロになる」があります。どちらも勤労の内容項目において優れた教材と考えます。

大田区で学ぶ生徒にとって、大田区を舞台とした勤労の話に触れるのも有意義ではないかと考えました。

日本文教出版だけにある別冊ノートについて、学校意見では、肯定的な意見が多数ありました。改善が加えられ、発問を書き込んでまとめられるような形式になっていて、一定の評価を得ているのではないかと考えました。

以上、総合的に判断して、道徳は日本文教出版を推すことといたします。

## ○教育長

私も、道徳は日本文教出版がよいと思います。

日本文教出版には、1年生で私は清掃のプロになるという羽田空港の環境マスター新津春子さんのお話が載っています。また、2年生には、小さな工場の大きな仕事という大田区の町工場の教材が載っています。

工場で働くお父さんの、この手で作ったものが世の中の役に立つということはいずれも嬉しいものだぞという言葉や、油の染み込んだ黒い手が誇らしく見えたという感じた父の姿が載っています。

さらに、大田区の糀谷中学校のいじめ防止プログラムが取り上げられており、これらの大田区にちなんだ教材は区内の全ての中学生に学んでほしいものというふうに思います。

また、1年生の「ゆうは生きていてくれてありがとう」、2年の「命を見つめて」、猿渡瞳さんの646日、3年生の「エリカ奇跡のいのち」など、命の大切さに関わる教材は感動を覚えるものがあり、生徒たちがかけがえのない命について考えるよい教材であると思いました。

以上です。

それでは、審議のまとめをいたします。

道徳については、日本文教出版が最も評価が高かったということでまとめてよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

○教育長

それでは、日本文教出版といたします。

以上で、本日の令和7年度使用大田区立中学校教科用図書採択の審議を終了いたします。

これまでの審議内容について、議案として提出し、直ちに審議を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

それでは、ここで20分間、4時45分まで休憩を取りたいというふうに思います。

○事務局職員

事務局からご案内いたします。お手洗い等で一時会場の外へ出られる方は、再入場の際に改めて傍聴券を確認させていただきますので、傍聴券を手元にお持ちの上、退場をお願いいたします。

再度、会場にお戻りにならない場合は、傍聴券を回収させていただきます。これをもって退出される方は、出入口の係員へ傍聴券をお返しく下さい。よろしく願いいたします。

(休憩)

○教育長

それでは再開します。

続いて、日程第2について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員

日程第2は、議案審議でございます。議案を読み上げます。

第30号議案、学校教育法附則第9条の規定に基づく令和7年度使用特別支援学級教科用

図書採択についてでございます。

なお、昨日からの教科書採択の審議を受けて、議案の追加提出がありました。

第31号議案令和7年度使用大田区立中学校教科用図書採択についてでございます。

#### ○教育長

それでは、審議に入ります。

昨日、第7回定例会及び本日の臨時会の2日間でご審議いただきました、中学校教科用図書採択に関する追加議案第31号議案について審議したいと思います。

なお、先ほど申しましたとおり、技術家庭につきましては、審議対象の教科書の一部の画像を削除修正するという情報を得たため、それについて確認する必要があるため、本日の審議は行わず、別途行うことといたします。

それでは、第31号議案について、事務局から説明をお願いいたします。

#### ○教育施設担当課長

第31号議案、令和7年度使用大田区立中学校教科用図書採択についてご説明いたします。

令和7年度使用大田区立中学校教科用図書につきましては、7月22日の第7回教育委員会定例会において、教科用図書調査委員会委員長、副委員長から調査報告をいただき、昨日の第8回定例会及び本日の2日間にわたりご審議をいただきました。

ここで、本案を議案として提出し、技術・家庭を除く令和7年度使用大田区立中学校教科用図書の採択をお願いしたく存じます。

中学校教科用図書の一覧については、次のとおりとなります。

国語、光村図書出版株式会社、書名、国語。

書写、光村図書出版株式会社、中学書写。

社会（地理）、株式会社帝国書院、社会科中学生の地理 世界の姿と日本の国土。

社会（歴史）、東京書籍株式会社、新編 新しい社会 歴史。

社会（公民）、東京書籍株式会社、新編 新しい社会 公民。

地図、株式会社帝国書院、中学校社会科地図。

数学、東京書籍株式会社、新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～。

理科、東京書籍株式会社、新編 新しい科学。

音楽（一般）、株式会社教育芸術社、中学生の音楽。

音楽（器楽）、株式会社教育芸術社、中学生の器楽。

美術、日本文教出版株式会社、美術。

保健体育、株式会社Gakken、新・中学保健体育。

英語、株式会社三省堂、NEW CROWN English Series。

特別の教科 道徳、日本文教出版株式会社、中学道徳 あすを生きる。

以上となります。

○教育長

令和7年度使用大田区立中学校教科用図書について、ご意見はありますでしょうか。よろしいですか。

(「なし」との声あり)

○教育長

それでは、第31号議案について、原案どおり決定してよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

○教育長

それでは、第31号議案について、原案どおり決定いたします。次に、第30号議案について、事務局職員に説明を求めます。

○指導課長

第30号議案、学校教育法附則第9条規定に基づく令和7年度使用特別支援学級教科用図書採択について説明いたします。

大田区教科用図書採択要綱第14条には、区立学校に設置されている特別支援学級で使用する教科用図書については、区立学校の通常の学級で使用する教科用図書を使用する。

2、前項の規定にかかわらず、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を使用する必要があると教育長が認めた場合は、特別支援学級設置校の校長会が審議し、適切と考える教科用図書を教育委員会に報告するとあります。

なお、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択期間については、児童・生徒の実態に、より一層対応した教科用図書を選定するために、義務教育諸学校の教科用図書無償措置に関する法律施行令第14条の規定からは除外されており、4年間によらず採択しているものでございます。

続けて、特別支援学級で使用する教科用図書の選定について説明いたします。

知的障害特別支援学級の設置校の児童・生徒の障害の種類・程度、能力・特性に最もふさわしい内容、文字、表現、挿絵、取り扱う題材であること、可能な限り系統的に編集されており、教科の目標に沿う内容を持つこと、特定の教材もしくは一部の分野しか取り扱っていない図書、参考書的図鑑類、問題集等は除くといった観点のもと、本区の特別支援学級設置校の校長会が、東京都教育委員会が作成した特別支援教育教科用図書調査研究資料、各設置校の意見を踏まえた上で、適切と考える教科用図書として選定いたしました。

選定された図書の一覧は別紙のとおりでございます。これを原案としてご覧ください。

そちらの原案に記載されている図書については、知的障害特別支援学校用、文部科学省著作教科用図書、東京都教育委員会が作成した特別支援教育教科用図書調査研究資料に掲載されている図書、そして、過去5年間に大田区で採択した図書となっているところでございます。

私からの説明は以上です。

○教育長

学校教育法附則第9条の規定に基づく特別支援学級使用教科用図書についてのご意見はございますでしょうか。

○三留委員

特別支援学級で使用する教科用図書については、学校教育法附則9条の規定に基づいて、児童・生徒の状況に即して指導の効果が上がる場合には、積極的に活用していくことが大切と思っております。

選定にあたっては、児童生徒の状況、特性を考慮して一定の基準によりつくられている東京都教育委員会特別支援教育教科書調査研究資料にある一般図書を採択する場合の注意事項等を踏まえて行われています。

これまで、リストにある図書を読んできましたが、題材、表現、見やすさ等、適切なものが選択されていると思います。

今回示されました一覧については、日々、特別支援学校の学校現場で指導にあっている先生方が、児童・生徒の状況に即した教育課程を実施するための図書を選択し、特別支援学級設置校長会において選定したものです。

特別支援学級の児童・生徒の学習に役立つ図書が選択されていると感じ、同意したいと思えます。

○教育長

ほかに意見はよろしいですか、ご質問。

(「なし」との声あり)

○教育長

それでは、第30号議案について、原案どおり決定してよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

○教育長

それでは、第30号議案につきましては、原案どおり決定することといたします。

これをもちまして、令和6年度第1回教育委員会臨時会を閉会いたします。

なお、技術・家庭についての審議は別途行います。会場につきましては、決まり次第ホームページにてお知らせしたいと思います。

令和6年 第1回 教育委員会 臨時会 8月8日(木) 午後2:00～

大田区産業プラザPiO コンベンションホール

<令和7年度使用大田区立中学校教科用図書採択について>

<部課長の報告事項>

教育総務部長

参事（教育施設担当）

教育総務課長

教育施設担当課長

副参事（教育地域力担当）

副参事（教育施設調整担当）

学務課長

指導課長

指導企画担当課長

学校支援担当課長

教育センター所長

幼児教育センター所長

大田図書館長

<議案審議>

第30号議案 学校教育法附則第9条の規定に基づく令和7年度使用特別支援学級教科用図書採択について

（追加提出予定）

令和7年度使用大田区立中学校教科用図書採択について

令和6年8月8日

令和6年第1回教育委員会臨時会日程

日程第1 令和7年度使用大田区立中学校教科用図書採択  
について

日程第2 議案審議

第30号議案 学校教育法附則第9条の規定に基づく令和7年度  
使用特別支援学級教科用図書採択について

(追加提出予定)

令和7年度使用大田区立中学校教科用図書採択  
について

第 30 号議案

学校教育法附則第 9 条の規定に基づく令和 7 年度使用特別支援学級教科用  
図書採択について  
上記の議案を提出する。

令和 6 年 8 月 8 日

提出者 大田区教育委員会教育長 小 黒 仁 史

学校教育法附則第 9 条の規定に基づく令和 7 年度使用特別支援学級教科用  
図書採択について  
別紙のとおり決定する。

(提案理由)

学校教育法附則第 9 条の規定に基づく令和 7 年度使用特別支援学級教科用図書  
を採択する必要があるため、この案を提出する。

### 令和7年度特別支援学級で使用する教科用図書一覧(小学校)

| 番号 | 種目    | 発行者名   | 図書名                                       |
|----|-------|--------|-------------------------------------------|
| 1  | 国語・言語 | 同成社    | ゆっくり学ぶ子のための「こくご」1 (改訂版) (ひらがなことば・文・文章の読み) |
| 2  | 国語・言語 | 同成社    | ゆっくり学ぶ子のための「こくご」2 (改訂版) (かたかな・かん字の読み書き)   |
| 3  | 国語・言語 | 同成社    | ゆっくり学ぶ子のための「こくご」3 (改訂版) (文章を読む、作文・詩を書く)   |
| 4  | 国語・言語 | 同成社    | ゆっくり学ぶ子のための 国語4                           |
| 5  | 国語・言語 | 好学社    | レオ・レオニの絵本 スイミー                            |
| 6  | 国語・言語 | 偕成社    | 五味太郎・言葉図鑑(3) かざることば(A)                    |
| 7  | 国語・言語 | 好学社    | レオ・レオニの絵本 スイミー                            |
| 8  | 国語・言語 | リーブル   | しりとりしましょ!たべものあいうえお                        |
| 9  | 書写    | 戸田デザイン | あいうえおえほん                                  |
| 10 | 書写    | あかね書房  | もじのえほん かんじ(1)                             |
| 11 | 書写    | 岩崎書店   | 五味太郎のことばとかずの絵本 漢字の絵本                      |
| 12 | 書写    | あかね書房  | もじのえほん かんじ(2)                             |
| 13 | 書写    | 太郎次郎社  | 漢字がたのしくなる本シリーズ 漢字がたのしくなる本ワーク1 基本漢字あそび     |
| 14 | 書写    | 太郎次郎社  | 漢字がたのしくなる本シリーズ 漢字がたのしくなる本ワーク2 あわせ漢字あそび    |
| 15 | 書写    | 太郎次郎社  | 漢字がたのしくなる本シリーズ 漢字がたのしくなる本ワーク3 部首あそび       |
| 16 | 書写    | 太郎次郎社  | 漢字がたのしくなる本シリーズ 漢字がたのしくなる本ワーク4 漢字の音あそび     |
| 17 | 書写    | くもん出版  | 小学ドリル国語 1年生のひらがな・カタカナのかきかた                |
| 18 | 書写    | くもん出版  | 小学ドリル国語 1年生の漢字                            |
| 19 | 書写    | くもん出版  | 小学ドリル国語 2年生の漢字                            |
| 20 | 書写    | くもん出版  | 小学ドリル国語 3年生の漢字                            |
| 21 | 書写    | くもん出版  | 小学ドリル国語 4年生の漢字                            |
| 22 | 書写    | くもん出版  | 小学ドリル国語 5年生の漢字                            |
| 23 | 書写    | くもん出版  | 小学ドリル国語 6年生の漢字                            |

令和7年度特別支援学級で使用する教科用図書一覧(小学校)

| 番号 | 種目  | 発行者名   | 図書名                                       |
|----|-----|--------|-------------------------------------------|
| 24 | 書写  | くもん出版  | ひらがなカード                                   |
| 25 | 書写  | くもん出版  | カタカナカード                                   |
| 26 | 書写  | くもん出版  | もじ・ことば11 はじめてのかん字                         |
| 27 | 書写  | 太郎次郎社  | 子どもがしあげる手作りの絵本 あいうえおあそび上ひらがな50音           |
| 28 | 書写  | 岩崎書店   | 五味太郎のことばとかずの絵本 漢字の絵本                      |
| 29 | 算数  | 小学館    | ドラえもんとおぼえよう！とけいのえほん                       |
| 30 | 算数  | 同成社    | ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」2 (1対1対応、1～5の数、5までのたし算)  |
| 31 | 算数  | 同成社    | ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」3 (6～9のたし算、ひき算、位取り)      |
| 32 | 算数  | 同成社    | ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」4 (くり上がり、くり下がり、2けたの数の計算) |
| 33 | 算数  | 同成社    | ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」5 (3けたの数の計算、かけ算、わり算)     |
| 34 | 算数  | 小学館    | 小学館の子ども図鑑プレNEO 楽しく遊ぶ学ぶかず・かたちの図鑑□          |
| 35 | 算数  | 戸田デザイン | 1から100までのえほん                              |
| 36 | 算数  | ひかりのくに | 認識絵本5 いくつかな                               |
| 37 | 保健  | 福村出版   | シリーズ生活を学ぶ6 わたしたちのからだ                      |
| 38 | 保健  | 童心社    | ピーマン村の絵本たち おおきくなるっていうことは                  |
| 39 | 保健  | 福音館    | みるずかん・かんじるずかん 世界のあいさつ                     |
| 40 | 英語  | あかね書房  | あかね書房の学習えほん えいごえほん ぞうさんがっこうに行く            |
| 41 | 英語  | 成美堂出版  | CDつき小学生の英語レッスン絵で見て学ぼう英会話                  |
| 42 | 道徳  | 偕成社    | ノンタンあそぼうよ(1) ノンタンぶらんこのせて                  |
| 43 | 道徳  | 金の星社   | おひさまセレクション 勇気をくれるおはなし16話                  |
| 44 | 道徳  | 旺文社    | 学校では教えてくれない大切なこと(2) 友だち関係(自分と仲良く)         |
| 45 | 道徳  | 旺文社    | 学校では教えてくれない大切なこと(6) 友だち関係(気持の伝え方)         |
| 46 | *生活 | 偕成社    | エリック・カールの絵本 はらぺこあおむし                      |

令和7年度特別支援学級で使用する教科用図書一覧(小学校)

| 番号 | 種目  | 発行者名    | 図書名                                   |
|----|-----|---------|---------------------------------------|
| 47 | *生活 | 玉川大学出版部 | ともだち                                  |
| 48 | *生活 | 岩崎書店    | かいかたそだてかたずかん4 やさいのうえかたそだてかた           |
| 49 | *生活 | 福音館     | みじかなかがくシリーズ町たんけん はたらく人みつけた            |
| 50 | *生活 | 福村出版    | シリーズ生活を学ぶ1 つくってたべよう                   |
| 51 | *生活 | 小峰書店    | 東京パノラマたんけん                            |
| 52 | *生活 | こぐま社    | 柳原良平のえほん かおかおどんなかお                    |
| 53 | *生活 | ひかりのくに  | 202シリーズ たべもの202                       |
| 54 | *生活 | 合同出版    | 絵でわかるこどものせいかつずかん1 みのまわりのきほん           |
| 55 | *生活 | 童心社     | 絵本・ちいさななかまたち はたけのともだち                 |
| 56 | *生活 | 福音館     | 福音館の科学シリーズ 昆虫 ちいさななかまたち               |
| 57 | *生活 | 朝日新聞出版社 | 日本ちず大ぼうけん                             |
| 58 | *生活 | 岩崎書店    | 絵本図鑑シリーズ8 やさいのずかん                     |
| 59 | *生活 | 金の星社    | ひとりのできるもん!1 たのしいたまご料理                 |
| 60 | *生活 | 戸田デザイン  | せかいちず絵本                               |
| 61 | *生活 | フレーベル   | フレーベル館の図鑑 ナチュラNATURA ふしぎをためす図鑑 かがくあそび |
| 62 | *生活 | 山と溪谷社   | 家庭科の教科書(低学年～高学年用)                     |
| 63 | *生活 | 草思社     | みんなのためのルールブックあたりまえだけど、とても大切なこと        |
| 64 | *生活 | ひかりのくに  | 改訂新版体験を広げるこどものずかん4 はなとやさい・くだもの        |
| 65 | *生活 | ひかりのくに  | はじめてのずかん4 やさいとくだもの                    |
| 66 | *生活 | 小学館     | 図鑑NEO 飼育と観察                           |
| 67 | *生活 | 小学館     | ドラえもんちずかん1 にっぽんちず                     |
| 68 | *生活 | 小学館     | ドラえもんちずかん2 せかいちず                      |
| 69 | *生活 | 小学館     | 図鑑NEOぶらす 新版くらべる図鑑                     |

令和7年度特別支援学級で使用する教科用図書一覧(小学校)

| 番号 | 種目  | 発行者名   | 図書名                                |
|----|-----|--------|------------------------------------|
| 70 | *生活 | ナツメ社   | 子どもの生きる力を育てるせいかつの絵じてん              |
| 71 | *生活 | ひかりのくに | こどものずかんMio12 きせつしぜん                |
| 72 | *生活 | 講談社    | 米村でんじろうのDVDでわかるおもしろ実験!             |
| 73 | *生活 | ブロンズ新社 | しごとば                               |
| 74 | *生活 | 成美堂出版  | CDつき小学生の英語レッスン絵で見て学ぼう英会話           |
| 75 | *生活 | 成美堂出版  | CDつき楽しく歌える英語のうた                    |
| 76 | *生活 | 福音館    | ぐりとぐらの絵本 ぐりとぐらの1年間                 |
| 77 | *生活 | 偕成社    | 100かいたでのいえシリーズ 100かいたでのいえ          |
| 78 | *生活 | 成美堂出版  | いちばんわかりやすい小学生のための学習日本地図帳           |
| 79 | *生活 | 福村出版   | シリーズ生活を学ぶ5 遠くへ行きたいな                |
| 80 | *生活 | ひかりのくに | こどものずかん④はなと やさい・くだもの               |
| 81 | *生活 | くもん出版  | 生活図鑑カード お店カード                      |
| 82 | *生活 | 成美堂出版  | いちばんわかりやすい 小学生のための学習世界地図帳          |
| 83 | *生活 | 金の星社   | ひとりのできるもん!4 うれしいごはん、パン、めん料理        |
| 84 | *生活 | 小峰書店   | りかこうさく1ねんせい                        |
| 85 | *生活 | 戸田デザイン | にっぽんちず絵本                           |
| 86 | *生活 | 平凡社    | 新版はじめましてせかいちず                      |
| 87 | *生活 | 平凡社    | 新版はじめましてにほんちず                      |
| 88 | *生活 | 福音館    | 料理図鑑 「生きる底力」をつけよう                  |
| 89 | *生活 | 三省堂    | こどものからだのしくみ絵じてん                    |
| 90 | *生活 | 三省堂    | こどもマナーとけいご絵じてん                     |
| 91 | *生活 | 合同出版   | 子どもとマスターする49の生活技術 イラスト版手のしごと       |
| 92 | *生活 | 旺文社    | 学校では教えてくれない大切なこと(6)ともだち関係(気持ちの伝え方) |

### 令和7年度特別支援学級で使用する教科用図書一覧(小学校)

| 番号  | 種目  | 発行者名      | 図書名                                   |
|-----|-----|-----------|---------------------------------------|
| 93  | *生活 | 婦人友       | こどもがつくるたのしいお料理                        |
| 94  | *生活 | 金の星社      | げんきをつくる食育えほん1 たべるのだいすき!               |
| 95  | *生活 | ひかりのくに    | 新装版KIDS2112 たべものひゃっか                  |
| 96  | *生活 | 小学館       | 小学館の図鑑プレNEO楽しく遊ぶふしぎの図鑑                |
| 97  | *生活 | 偕成社       | 子どもの生活(3) マナーをきちんとおぼえよう!              |
| 98  | *生活 | 開隆堂       | 職業・家庭たのしい職業科 わたしの夢につながる               |
| 99  | *生活 | 福音館       | ぐりとぐらの絵本 ぐりとぐらの1ねんかん                  |
| 100 | *生活 | 金の星社      | やさしいからだのえほん1 からだのなかはどうなっているの?         |
| 101 | *生活 | 福音館       | 福音館の科学シリーズ どうぶつえんガイド                  |
| 102 | *生活 | 開隆堂       | 職業・家庭たのしい家庭科 わたしのくらしに生かす              |
| 103 | *生活 | 戸田デザイン研究所 | ABCえほん                                |
| 104 | *生活 | 成美堂出版     | 作ってみよう!リサイクル工作68                      |
| 105 | *生活 | 福音館       | 校庭のざっ草                                |
| 106 | *生活 | 合同出版      | イラスト版 修理のこつ 子どもとマスターする54の生活技術口        |
| 107 | *生活 | 合同出版      | イラスト版気持ちの伝え方 コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング |
| 108 | *生活 | あかね書房     | ことばのえほん ABC                           |
| 109 | *生活 | あかね書房     | あかね書房の学習えほん えいごえほん ぞうさんがっこうに行く        |
| 110 | *生活 | 鈴木出版      | 知育えほん マークのずかん                         |
| 111 | *生活 | くもん出版     | 生活図鑑カード くだものやさいカード1集                  |
| 112 | *生活 | 小学館       | 図鑑NEOプラス もっとくらべる図鑑                    |
| 113 | *生活 | 学研        | ふしぎ・びっくり!?こども図鑑9 ちきゅう                 |
| 114 | *生活 | 女子栄養大学    | 新・こどもクッキング                            |
| 115 | *生活 | 合同出版      | イラスト版 子どものお手伝い 子どもとマスターする49の生活技術      |

令和7年度特別支援学級で使用する教科用図書一覧(中学校)

| 番号 | 種目    | 発行者名  | 図書名                                  |
|----|-------|-------|--------------------------------------|
| 1  | 国語・言語 | 東書    | 国語 ☆☆☆☆                              |
| 2  | 国語・言語 | 東書    | 国語 ☆☆☆☆☆                             |
| 3  | 国語・言語 | 教育出版  | 国語 ☆☆☆☆                              |
| 4  | 国語・言語 | 東洋館   | くらしに役立つ国語                            |
| 5  | 国語・言語 | 同成社   | ゆっくり学ぶ子のための 国語4                      |
| 6  | 国語・言語 | 偕成社   | 五味太郎・言葉図鑑(3) かざることば(A)               |
| 7  | 国語・言語 | 日本教育研 | ひとりだちするための国語                         |
| 8  | 書写    | 太郎次郎社 | 漢字がたのしくなる本ワーク1 基本漢字あそび               |
| 9  | 書写    | 太郎次郎社 | 漢字がたのしくなる本ワーク2 あわせ漢字あそび              |
| 10 | 書写    | 太郎次郎社 | 漢字がたのしくなる本ワーク3 部首あそび                 |
| 11 | 書写    | 増進堂   | 正しく美しい書き方 ひらがな・カタカナ・数字               |
| 12 | 書写    | 増進堂   | 正しく美しい書き方 漢字                         |
| 13 | 書写    | 大和出版  | 小学漢字1006が5時間で覚えられる問題集                |
| 14 | 社会    | 東洋館   | くらしに役立つ社会                            |
| 15 | 社会    | 学研    | やさしくまるごと小学社会                         |
| 16 | 社会    | 平凡社   | ちずかん 地図で学ぶ日本の歴史人物                    |
| 17 | 社会    | 東書    | 社会 ☆☆☆☆☆                             |
| 18 | 数学    | 教育出版  | 数学 ☆☆☆☆                              |
| 19 | 数学    | 教育出版  | 数学 ☆☆☆☆☆                             |
| 20 | 数学    | 東書    | 数学 ☆☆☆☆                              |
| 21 | 数学    | 同成社   | ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」⑤(3けたの数の計算、かけ算、わり算) |
| 22 | 数学    | 東洋館   | くらしに役立つ数学                            |

令和7年度特別支援学級で使用する教科用図書一覧(中学校)

| 番号 | 種目    | 発行者名   | 図書名                                |
|----|-------|--------|------------------------------------|
| 23 | 数学    | 日本教育研  | ひとりだちするための算数・数学                    |
| 24 | 理科    | 講談社    | 米村でんじろうのDVDでわかるおもしろ実験！！            |
| 25 | 理科    | 東洋館    | くらしに役立つ理科                          |
| 26 | 理科    | 学研     | やさしくまるごと小学理科                       |
| 27 | 理科    | みくに出版  | 理科実験資料集改訂新版                        |
| 28 | 理科    | 東書     | 理科 ☆☆☆☆☆                           |
| 29 | 音楽    | 東書     | 音楽 ☆☆☆☆                            |
| 30 | 音楽    | 教芸     | 5訂版 歌はともだち                         |
| 31 | 音楽    | 教芸     | 混声合唱曲集●クラス用 New Chorus Friends 6訂版 |
| 32 | 美術    | 秀学社    | 美術資料                               |
| 33 | 美術    | 偕成社    | かこさとし うつくしい絵                       |
| 34 | 美術    | 東京書店   | やさしくおれるたのしいおりがみ                    |
| 35 | 保健・体育 | 小学館    | キッズペディアスポーツびっくり図鑑                  |
| 36 | 保健・体育 | 東洋館    | くらしに役立つ保健体育                        |
| 37 | 保健・体育 | 日本文芸社  | 図解 応急手当 ハンドブック                     |
| 38 | 保健・体育 | みらい    | 中学校体育実技 東京都版                       |
| 39 | 技術・家庭 | 中央法規出版 | 「働く」の教科書 15人の先輩とやりたい仕事を見つけよう       |
| 40 | 技術・家庭 | 日本教育研  | ひとりだちするための調理学習                     |
| 41 | 技術・家庭 | 日本教育研  | ひとりだちするためのビジネスマナー&コミュニケーション        |
| 42 | 技術・家庭 | 成美堂出版  | 野菜の上手な育て方大辞典                       |
| 43 | 技術・家庭 | 開隆堂出版  | 共に生きる家庭科                           |
| 44 | 技術・家庭 | 開隆堂出版  | 夢を育む技術、職業 未来に向かって                  |

令和7年度特別支援学級で使用する教科用図書一覧(中学校)

| 番号 | 種目    | 発行者名     | 図書名                             |
|----|-------|----------|---------------------------------|
| 45 | 技術・家庭 | 東書       | 職業・家庭 ☆☆☆☆☆                     |
| 46 | 英語    | 三省堂書店    | New ABC of ENGLISH 会話編 新装改訂新版   |
| 47 | 英語    | 三省堂書店    | New ABC of ENGLISH 基本編          |
| 48 | 英語    | 三省堂書店    | New ABC of ENGLISH 単語編          |
| 49 | 英語    | 三省堂書店    | 英語のゲーム 音で遊ぼう                    |
| 50 | 道徳    | 旺文社      | 学校では教えてくれない大切なこと2 友達関係～自分と仲良く～  |
| 51 | 道徳    | 旺文社      | 学校では教えてくれない大切なこと6 友達関係～気持ちの伝え方～ |
| 52 | 道徳    | 日本図書センター | 逆境に負けない力をつける！ こども菜根譚            |
| 53 | 道徳    | 草思社      | みんなのためのルールブック あたりまえだけど、とても大切なこと |
| 54 | 道徳    | 日本教育研    | ひとりだちするためのトラブル対策改訂版             |

第 31 号議案

令和 7 年度使用大田区立中学校教科用図書採択について  
上記の議案を提出する。

令和 6 年 8 月 8 日

提出者 大田区教育委員会教育長 小 黒 仁 史

令和 7 年度使用大田区立中学校教科用図書採択について  
別紙のとおり決定する。

(提案理由)

令和 7 年度に大田区立中学校で使用する教科用図書を採択する必要があるため、  
この案を提出する。

令和7年度使用大田区立中学校教科用図書

| 種目       |      | 発行者        | 書名                                 |
|----------|------|------------|------------------------------------|
| 国語       |      | 光村図書出版株式会社 | 国語                                 |
| 書写       |      | 光村図書出版株式会社 | 中学書写                               |
| 社会       | 地理   | 株式会社帝国書院   | 社会科 中学生の地理<br>世界の姿と日本の国土           |
|          | 歴史   | 東京書籍株式会社   | 新編 新しい社会 歴史                        |
|          | 公民   | 東京書籍株式会社   | 新編 新しい社会 公民                        |
| 地図       |      | 株式会社帝国書院   | 中学校社会科地図                           |
| 数学       |      | 東京書籍株式会社   | 新編 新しい数学 ～MATH<br>CONNECT 数学のつながり～ |
| 理科       |      | 東京書籍株式会社   | 新編 新しい科学                           |
| 音楽       | 一般   | 株式会社教育芸術社  | 中学生の音楽                             |
|          | 器楽   | 株式会社教育芸術社  | 中学生の器楽                             |
| 美術       |      | 日本文教出版株式会社 | 美術                                 |
| 保健体育     |      | 株式会社Gakken | 新・中学保健体育                           |
| 技術<br>家庭 | 技術分野 |            |                                    |
|          | 家庭分野 |            |                                    |
| 英語       |      | 株式会社三省堂    | NEW CROWN English Series           |
| 特別の教科 道徳 |      | 日本文教出版株式会社 | 中学道徳 あすを生きる                        |